

**岩国市公共施設等総合管理計画に関する
市民意識調査結果報告書**

平成 28 年 11 月

岩 国 市

目 次

1 調査概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査対象	1
1.3 主な調査内容	1
1.4 実施要領	1
2 調査結果	2
2.1 回答者の属性	2
2.2 岩国市の公共施設の現状について	5
2.3 公共施設の過去1年間の利用頻度について	7
2.4 公共施設のあり方について	34
2.5 自由意見	54
2.6 調査票	55

岩国市公共施設等総合管理計画に関する市民意識調査 調査結果の概要

1. 調査概要

調査期間	平成 28 年 8 月 9 日（火）～8 月 31 日（水） ※9 月 6 日回収分まで集計		
対象者	2016 年 7 月 15 日時点で岩国市にお住まいの 16 歳以上の方、3,000 人		
調査方法	郵送による配布、回収	回収数	1,168 票（回収率 38.9%）

2. 市民意識調査結果の概要

○公共施設老朽化に対する認知度

- 公共施設が老朽化していることについて、**全体の約 7 割の人が認知している**。
- ただし、年齢別では **20 歳代のみ認知度が半数以下（約 4 割）** となっている。

○公共施設の利用頻度

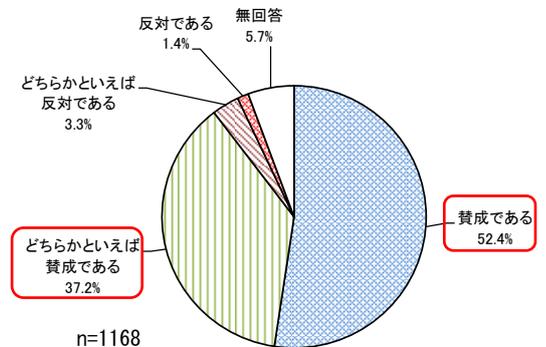
- 1 年に 1 回以上利用している施設は、**「行政系施設」（76.1%）** が最も多く、次いで、**「社会教育系施設」（52.5%）**「**市民文化系施設」（46.9%）** となっている。
 ※ただし、「行政系施設」：10 歳代の過半数が「ほぼ利用なし/利用したことがない」、「社会教育系施設」：20 歳代の過半数が「ほぼ利用なし/利用したことがない」、「市民文化施設」：10 歳代 20 歳代の約 7 割以上が「ほぼ利用なし/利用したことがない」（他の世代は約 5 割以下）と回答。
- 利用が少ない理由は、全ての施設において**「生活上必要がなかった」**が最も多くなっているが、**「産業系施設」**では**「施設のある場所までの交通が不便」**、**「医療施設」**では**「民間や近隣自治体の同種施設を利用」**といった回答が平均を大きく上回っている。

【年齢別施設の利用状況（利用頻度が月に 1 回以上）】 社会教育系施設は全世代に利用が見られ、市民文化系施設は 60 歳代以上、スポーツ・レクリエーション系施設は 10 歳代と 50 歳代、子育て支援施設は 30 歳代で利用されている結果となった。

【地域別施設の利用状況（利用頻度が月に 1 回以上）】 美和地域を除く地域で「社会教育系施設」の利用が見られるが、由宇地域はその他に「スポーツ・レクリエーション系施設」、美和地域は「医療施設」の利用が見られる。

○公共施設マネジメントのあり方

- 公共施設を適正な数、規模、配置にするための取り組みについては、「賛成である」と「どちらかといえば賛成である」を足すと、**約 9 割の方が賛成**している。
- 施設の見直しに賛成した方が考える**見直し対象施設として、「建物・設備が古くなっている施設」、「利用者が少ない施設」、「維持管理費用がかかりすぎている施設」**があげられた。
- 施設の見直しに反対した人の理由では、**「施設が遠くなると思うから」**に**約 5 割**の方が回答している。



<公共施設マネジメントの考え方>

○公共施設の複合化

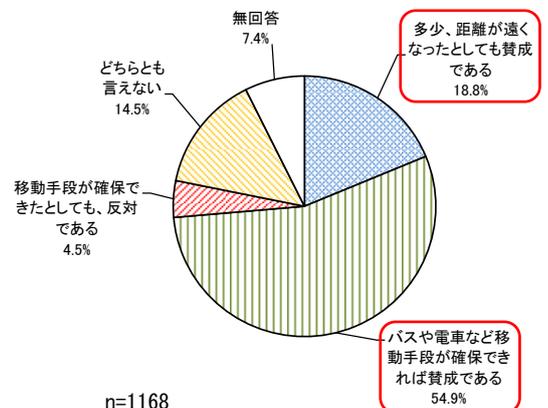
- 「多少、距離が遠くなったとしても賛成である」と「バスや電車など移動手段が確保できれば賛成である」を足すと**約 7 割の方が公共施設の複合化に賛成**している。

○公共施設の有料化

- 約 5 割（55.2%）**の方が**「利用者の負担を増やす前に、施設の集約を進めるなど、まず公共施設全体で維持管理にかかっている費用を減少させるべき。」**と回答している。

○公共施設マネジメントに期待すること

- 公共施設マネジメントに期待することとして、**約 6 割の方が「無駄をなくし、公共施設・サービスの集約など見直しを行うこと。」**と回答



<公共施設の複合化>

1 調査概要

1.1 調査目的

公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっているため、公共施設の最適化に向けた取組として、岩国市が所有する公共施設の概要をまとめた、『岩国市公共施設白書』を基礎資料とし、岩国市の公共施設のあり方や維持管理・運営方法など公共施設マネジメントの基本方針となる「岩国市公共施設等総合管理計画」を策定する予定である。

本調査は、これからの岩国市の公共施設のあり方について、市民意向を把握することを目的として実施するものである。

1.2 調査対象

- 市民 3,000 人を無作為抽出
(2016 年 7 月 15 日時点で岩国市にお住まいの 16 歳以上の方)

1.3 主な調査内容

- 回答者の属性
- 岩国市の公共施設の現状について
- 公共施設の過去 1 年間の利用頻度について
- 公共施設のあり方について

1.4 実施要領

1) 実施方法

- 郵送による配布回収

2) 実施時期

- 平成 28 年 8 月 9 日 (火) ~ 8 月 31 日 (水) (9 月 6 日 (火) 到着分までを集計した)

3) 回収率

- 回収率は 1,168 票、38.9%

4) 集計結果について

- 今回の集計結果は、実数と割合を示し、割合は小数点第 1 位まで表示している。
- 割合の合計は、四捨五入の関係で 100%にならないことがある。
- クロス集計のコメントは、属性別で特色のあるものを対象としている。ただし、無回答、回答数 (n 値) が 1 桁のものは除いている。

2 調査結果

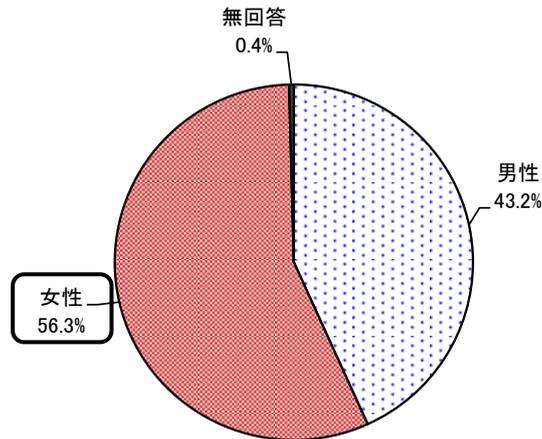
2.1 回答者の属性

1) 性別

問 1. あなたの性別は。

性別は、「男性」(43.2%)、「女性」(56.3%)で「女性」の割合が高くなっている。

n=1168



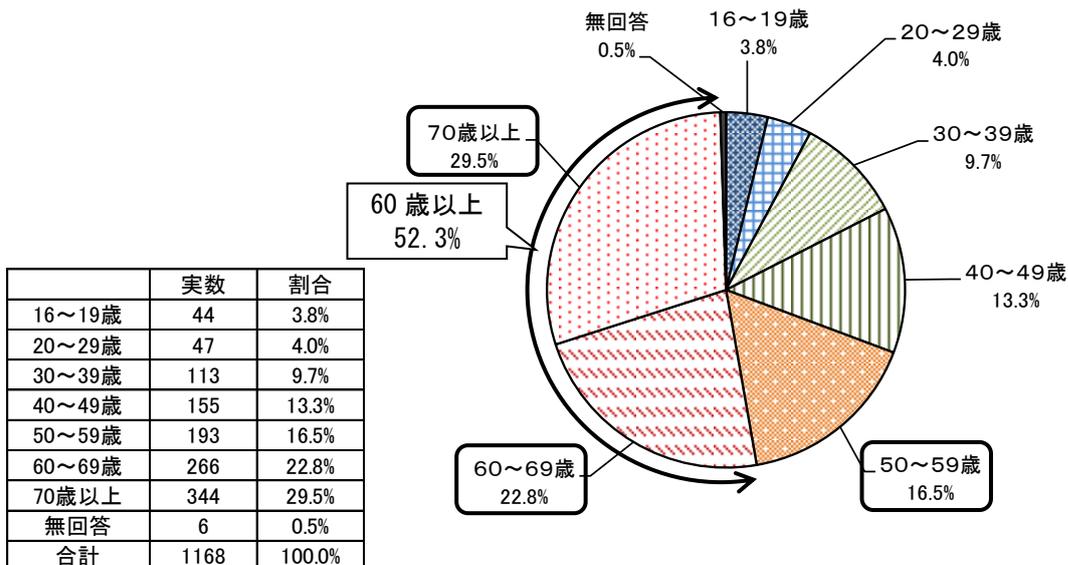
<回答者の性別>

2) 年齢

問 2. あなたの年齢は。

年齢は、「70歳以上」(29.5%)の割合が最も高く、次いで「60～69歳」(22.8%)、「50～59歳」(16.5%)となっており、60歳以上が過半数を占めている。

n=1168



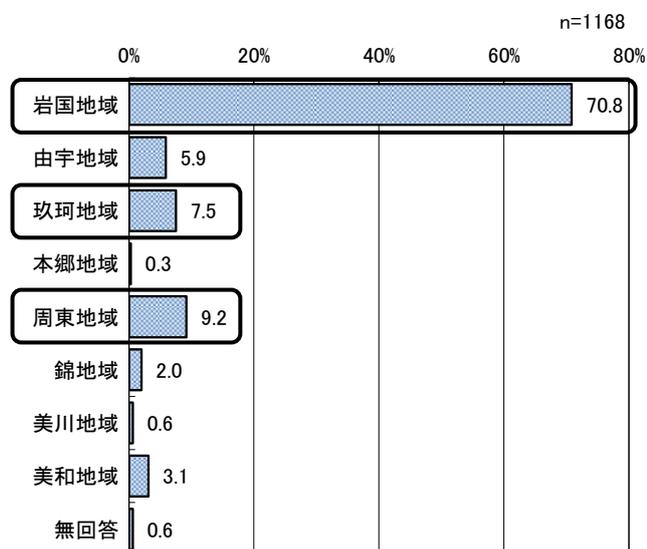
<回答者の年齢>

3) お住まいの地域

問3. あなたのお住まいの地域は。

お住まいの地域は、「岩国地域」(70.8%)の割合が最も高く、次いで「周東地域」(9.2%)、「玖珂地域」(7.5%)となっている。

	実数	割合
岩国地域	827	70.8%
由宇地域	69	5.9%
玖珂地域	88	7.5%
本郷地域	3	0.3%
周東地域	108	9.2%
錦地域	23	2.0%
美川地域	7	0.6%
美和地域	36	3.1%
無回答	7	0.6%
合計	1168	100.0%



<回答者のお住まいの地域>

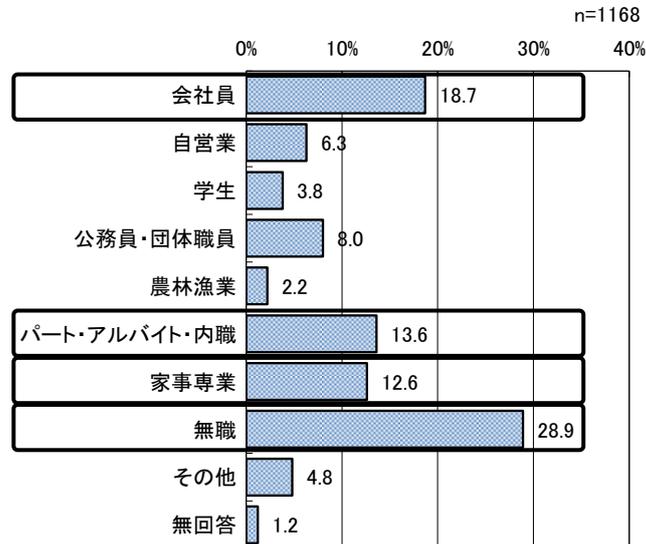
<参考:地域別年齢別内訳>

	調査数	16歳以下	17-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	無回答
全体	1168	44	47	113	155	193	266	344	6	
	100.0	3.8	4.0	9.7	13.3	16.5	22.8	29.5	0.5	
岩国地域	827	35	31	84	111	139	185	239	3	
	100.0	4.2	3.7	10.2	13.4	16.8	22.4	28.9	0.4	
由宇地域	69	0	4	7	7	10	16	24	1	
	100.0	0.0	5.8	10.1	10.1	14.5	23.2	34.8	1.4	
玖珂地域	88	6	1	10	16	17	17	21	0	
	100.0	6.8	1.1	11.4	18.2	19.3	19.3	23.9	0.0	
本郷地域	3	0	0	0	0	1	1	1	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	
周東地域	108	2	8	8	15	14	31	30	0	
	100.0	1.9	7.4	7.4	13.9	13.0	28.7	27.8	0.0	
錦地域	23	0	0	1	2	5	6	9	0	
	100.0	0.0	0.0	4.3	8.7	21.7	26.1	39.1	0.0	
美川地域	7	0	0	0	0	2	2	3	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	42.9	0.0	
美和地域	36	1	3	2	3	5	7	14	1	
	100.0	2.8	8.3	5.6	8.3	13.9	19.4	38.9	2.8	

4) 職業

問4. あなたのご職業は。

職業は、「無職」(28.9%)の割合が高く、次いで「会社員」(18.7%)、「パート・アルバイト・内職」(13.6%)、「家事専業」(12.6%)となっている。



<回答者の職業>

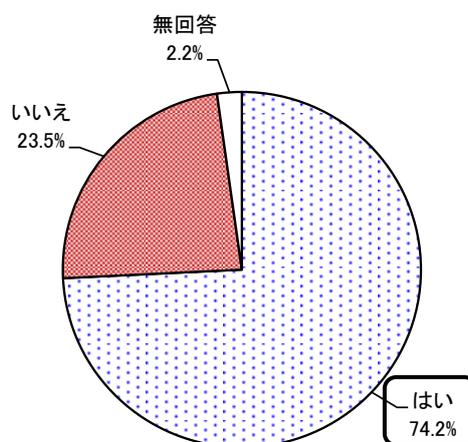
2.2 岩国市の公共施設の現状について

問5. 平成24年12月に発生した中央自動車道・笹子トンネルの天井板崩落事故に象徴されるように、昭和40～50年代の高度経済成長期に整備された社会インフラ（道路や橋など）や公共施設が老朽化し、全国的に社会問題となっています。

岩国市の公共施設も同様に、老朽化が進んでいることをご存知でしたか。

岩国市の公共施設の老朽化が進んでいることを知っていたかについては、「はい」（74.2%）、「いいえ」（23.5%）で、約7割の人が、公共施設が老朽化していることを知っている。

n=1168

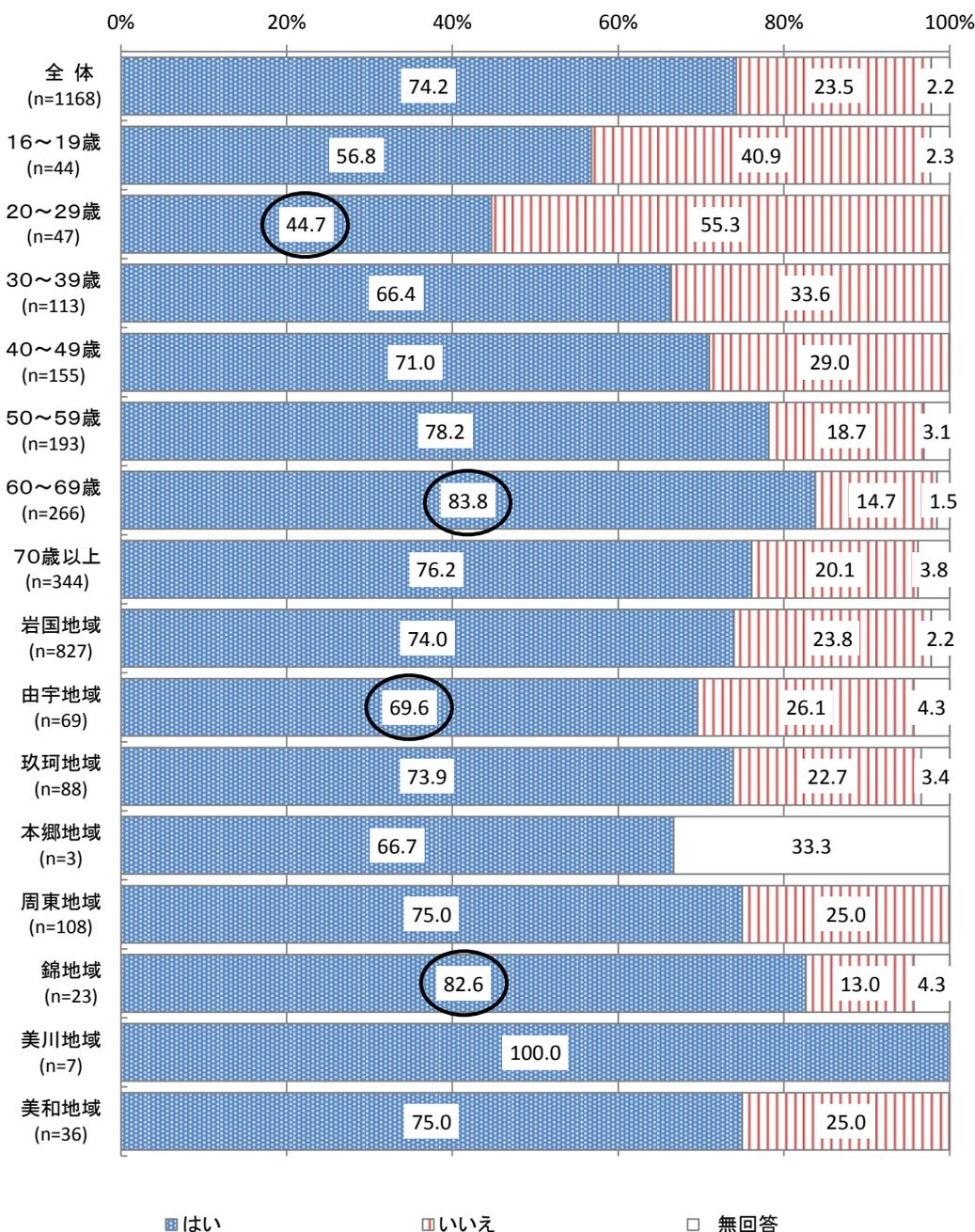


<公共施設老朽化の認知度>

【年齢別・地域別】

年齢別にみると、「はい」と答えた方は、60～69歳（83.8%）で全体より多く、20～29歳（44.7%）で全体より少なくなっていることから、若年層にあまり認知されていないことが伺える。

地域別にみると、「はい」と答えた方は、錦地域（82.6%）で全体よりも多く、由宇地域（69.6%）で全体よりも少なくなっている。



2.3 公共施設の過去1年間の利用頻度について

1) 利用頻度と利用が少ない理由

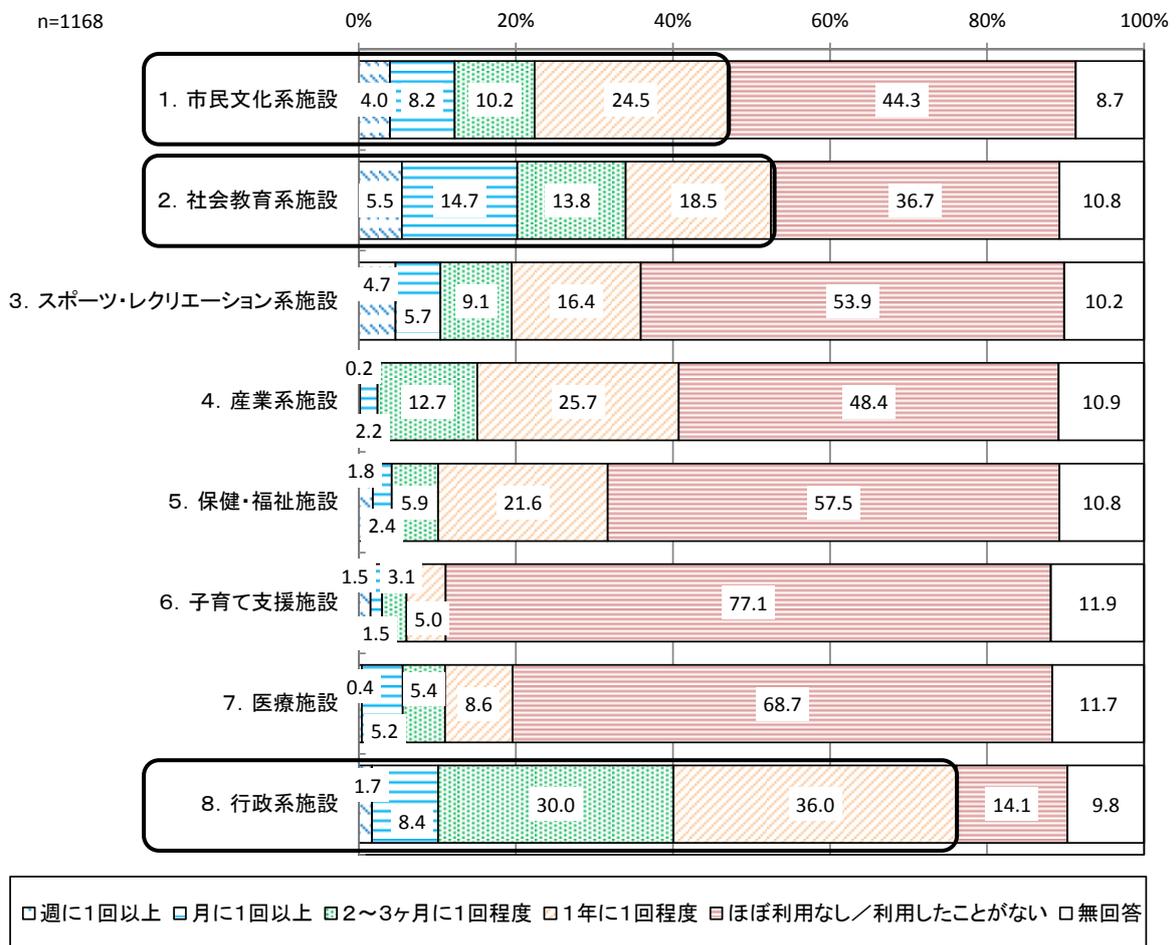
①利用頻度

問6. あなたは、過去1年間で岩国市の公共施設をどの程度利用しましたか。下記の施設ごとに、あなたの利用頻度に最も近いものについて、1～5のいずれか1つに○をつけてください。

利用頻度は、「8. 行政系施設」を除いた施設において「ほぼ利用なし/利用したことがない」の割合が最も高くなっている。

最も利用されている施設としては「8. 行政系施設」であり、約8割の方が1年に1回以上は利用しており、「2～3ヶ月に1回程度」利用する割合も30.0%となっている。

1年に1回以上利用している施設は、「8. 行政系施設」に次いで、「2. 社会教育系施設」「1. 市民文化系施設」となっている。



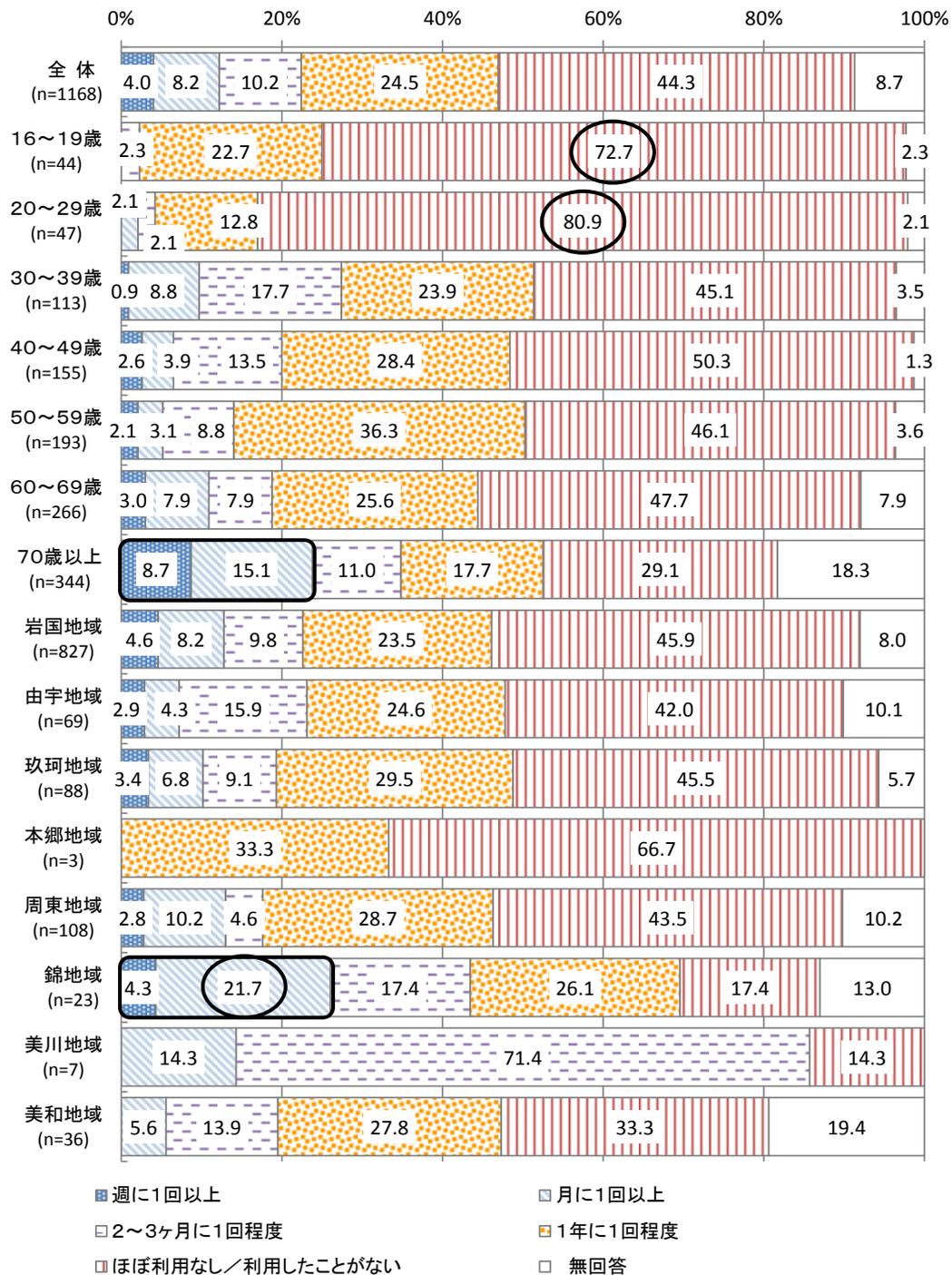
<利用頻度>

【年齢別・地域別】

1. 市民文化系施設(集会所、供用会館等)

年齢別にみると、「ほぼ利用なし/利用したことがない」が20～29歳(80.9%)、16～19歳(72.7%)で全体より多くなっていることから、若年層にあまり利用されていないことが伺える。また、70歳以上で「週に1回以上」と「月に1回以上」の合計が他と比較して多くなっている。

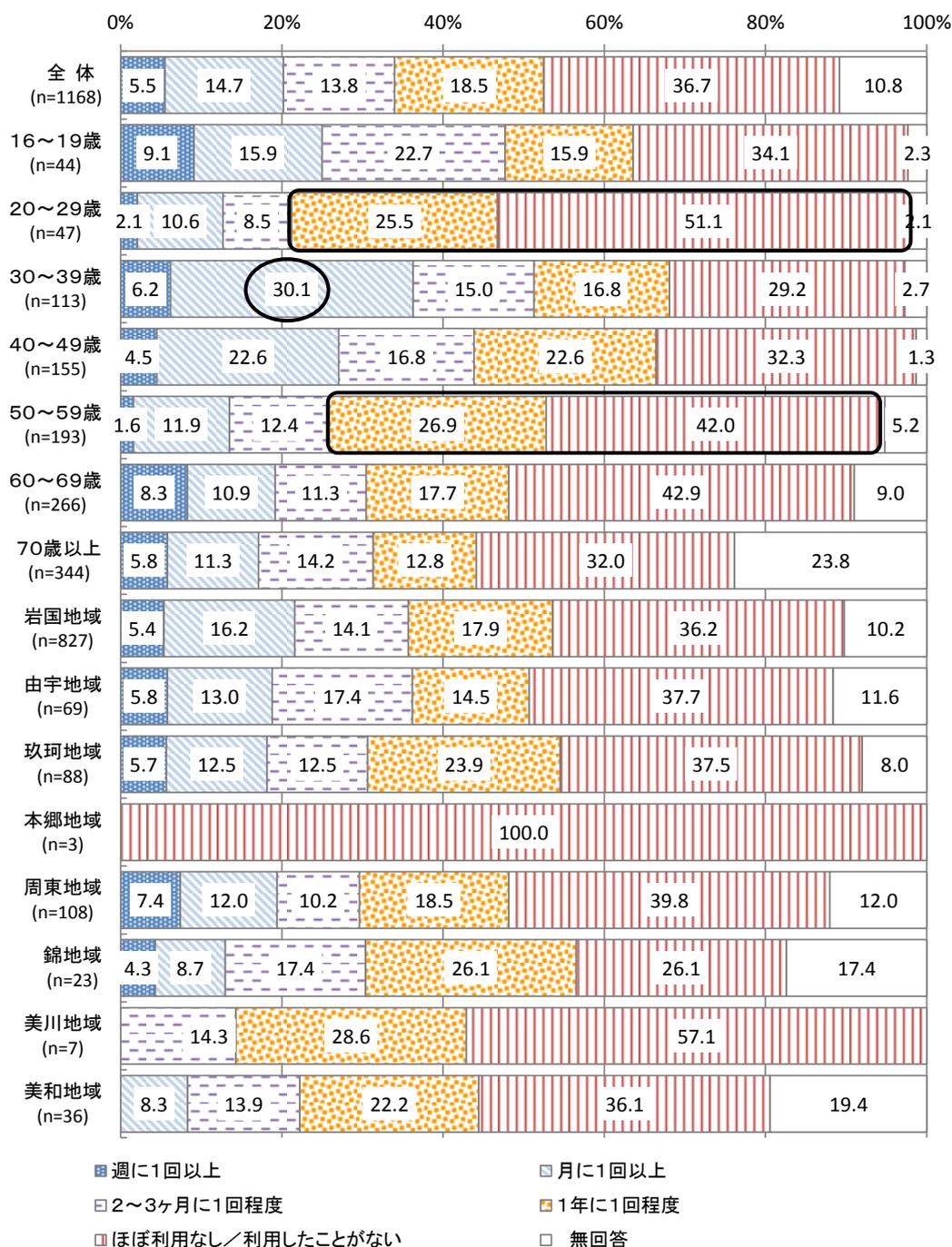
地域別にみると、「月に1回以上」が錦地域(21.7%)で全体より多くなっている。また、錦地域で「週に1回以上」と「月に1回以上」の合計が他と比較して多くなっている。



2. 社会教育系施設(公民館、図書館等)

年齢別にみると、「月に1回以上」が30～39歳(30.1%)で全体より多くなっている。また、20～29歳、50～59歳で「1年に1回程度」と「ほぼ利用なし/利用したことがない」の合計が他と比較して多くなっている。

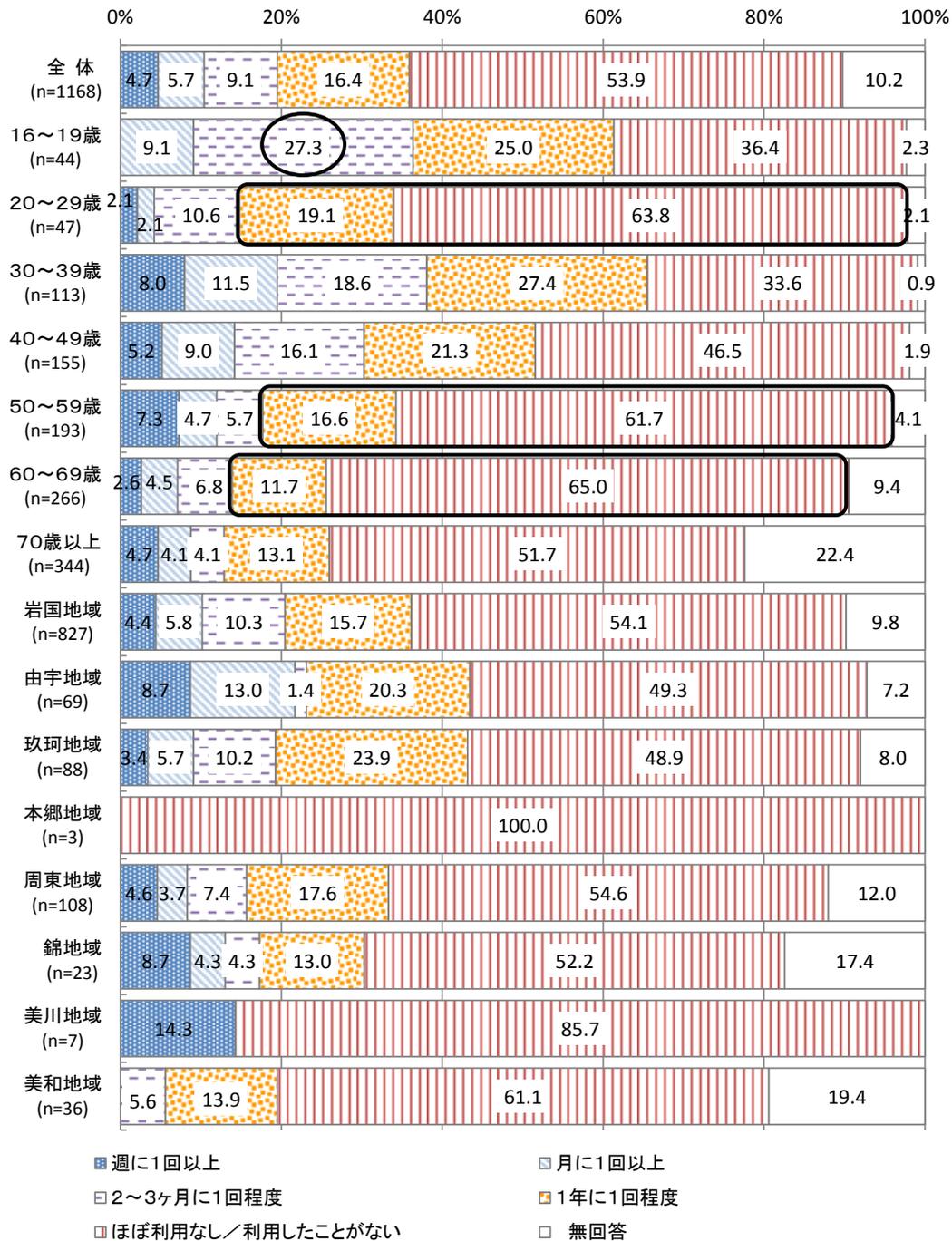
地域別では、全体と同様の傾向を示している。



3. スポーツ・レクリエーション系施設(岩国運動公園、由宇文化スポーツセンター等)

年齢別にみると、「2～3ヶ月に1回程度」が16～19歳(27.3%)で全体より多くなっている。また、20～29歳、50～59歳、60～69歳で「1年に1回程度」と「ほぼ利用なし/利用したことがない」の合計が他と比較して多くなっている。

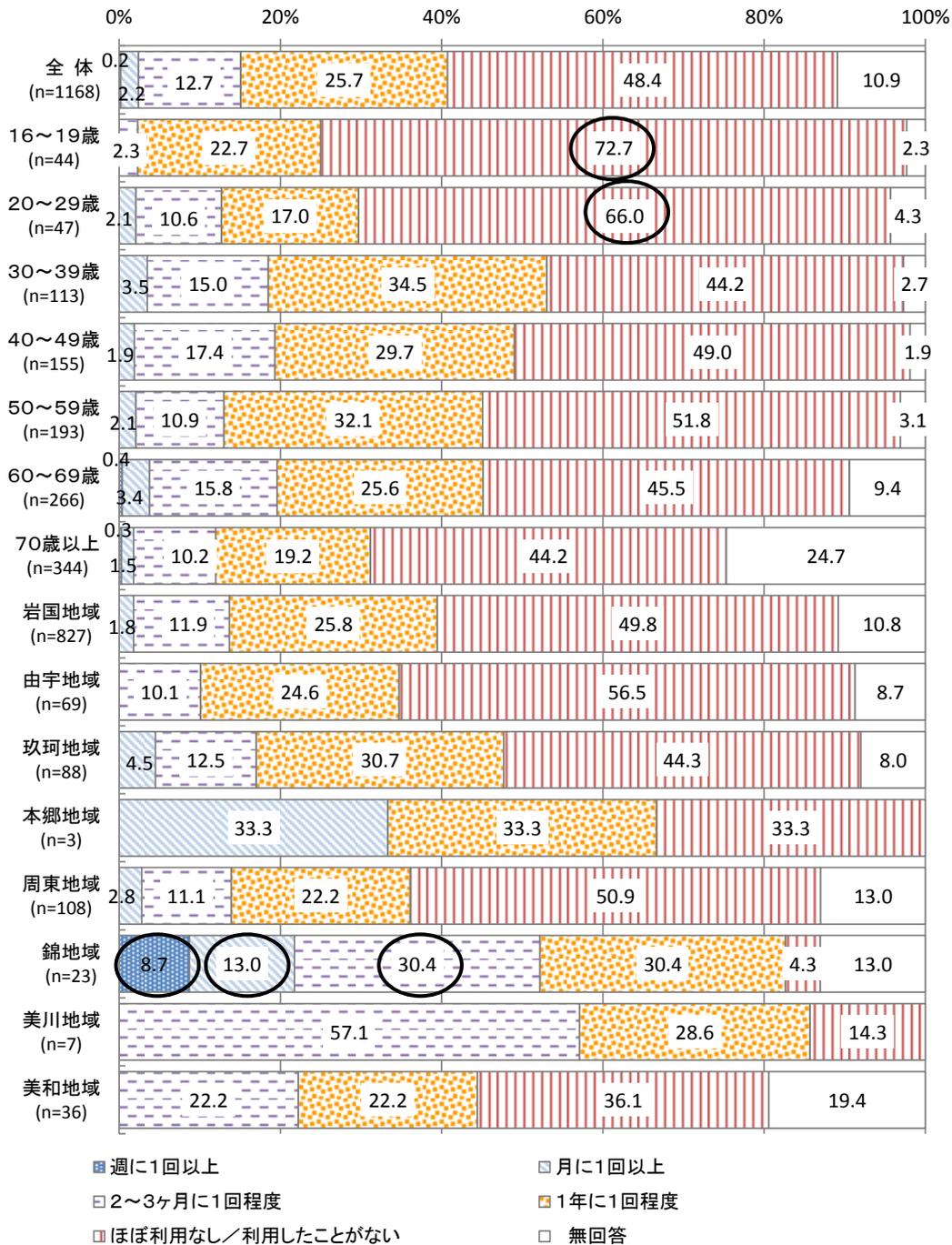
地域別では、全体と同様の傾向を示している。



4. 【産業系施設(道の駅「ピュアラインにしき」、ウッドビレッジみかわ等)】

年齢別にみると、「ほぼ利用なし／利用したことがない」が16～19歳(72.7%)、20～29歳(66.0%)で全体より多くなっている。

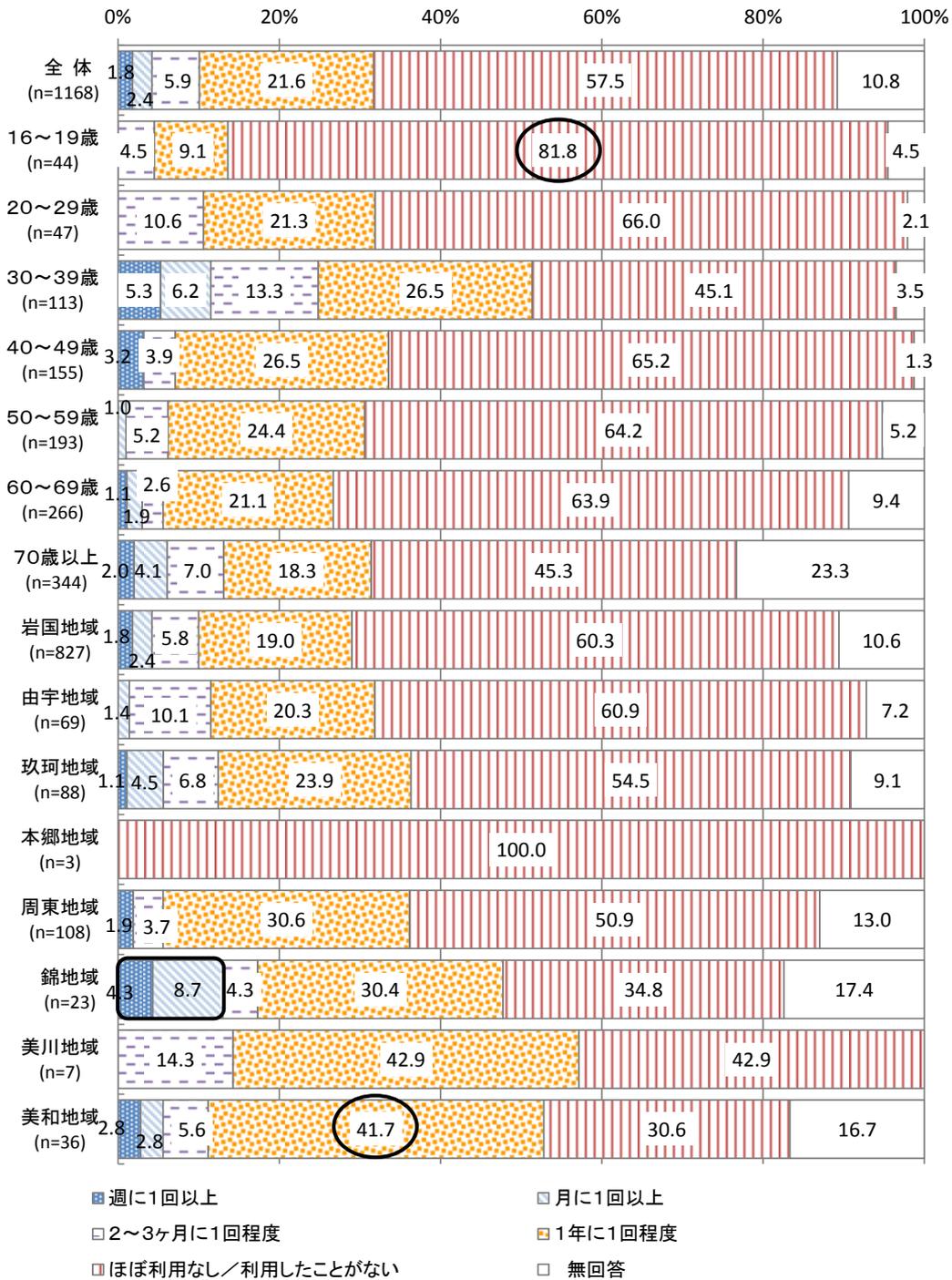
地域別にみると、錦地域で「2～3ヶ月に1回程度」(30.4%)、「月に1回以上」(13.0%)が全体より多く、「週に1回以上」も多い。



5. 保健・福祉施設(保健センター、福祉会館等)

年齢別にみると、「ほぼ利用なし/利用したことがない」が16～19歳(81.8%)で全体より多くなっている。

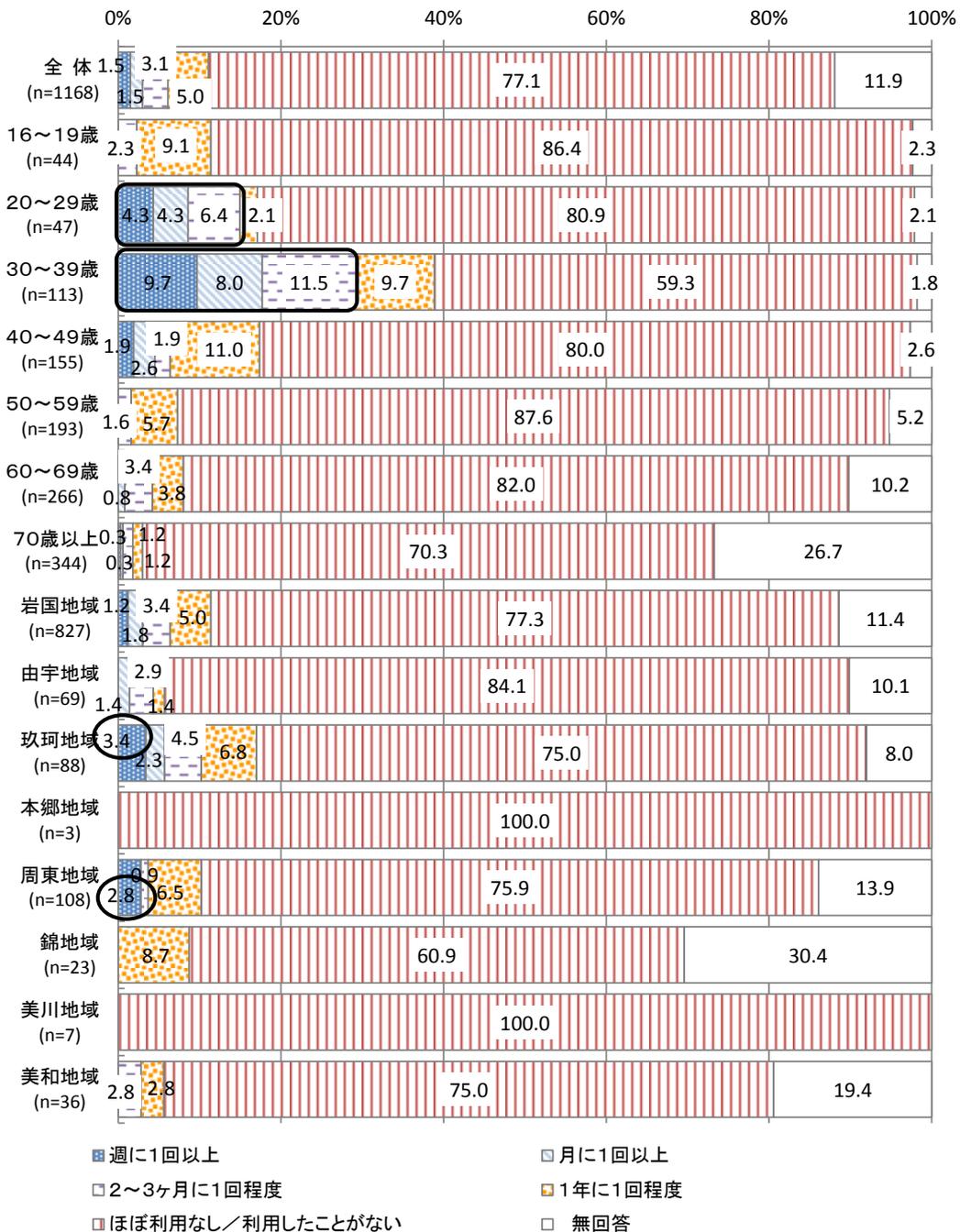
地域別にみると、「1年に1回程度」が美和地域(41.7%)で全体より多くなっている。また、錦地域で「週に1回以上」と「月に1回以上」の合計が他と比較して多くなっている。



6. 子育て支援施設(こども館、児童館等、ただし、保育園、幼稚園は除く)

年齢別にみると、20～29歳、30～39歳の子育て世代で「週に1回以上」、「月に1回以上」、「2～3ヶ月に1回程度」の合計が他と比較して多くなっている。

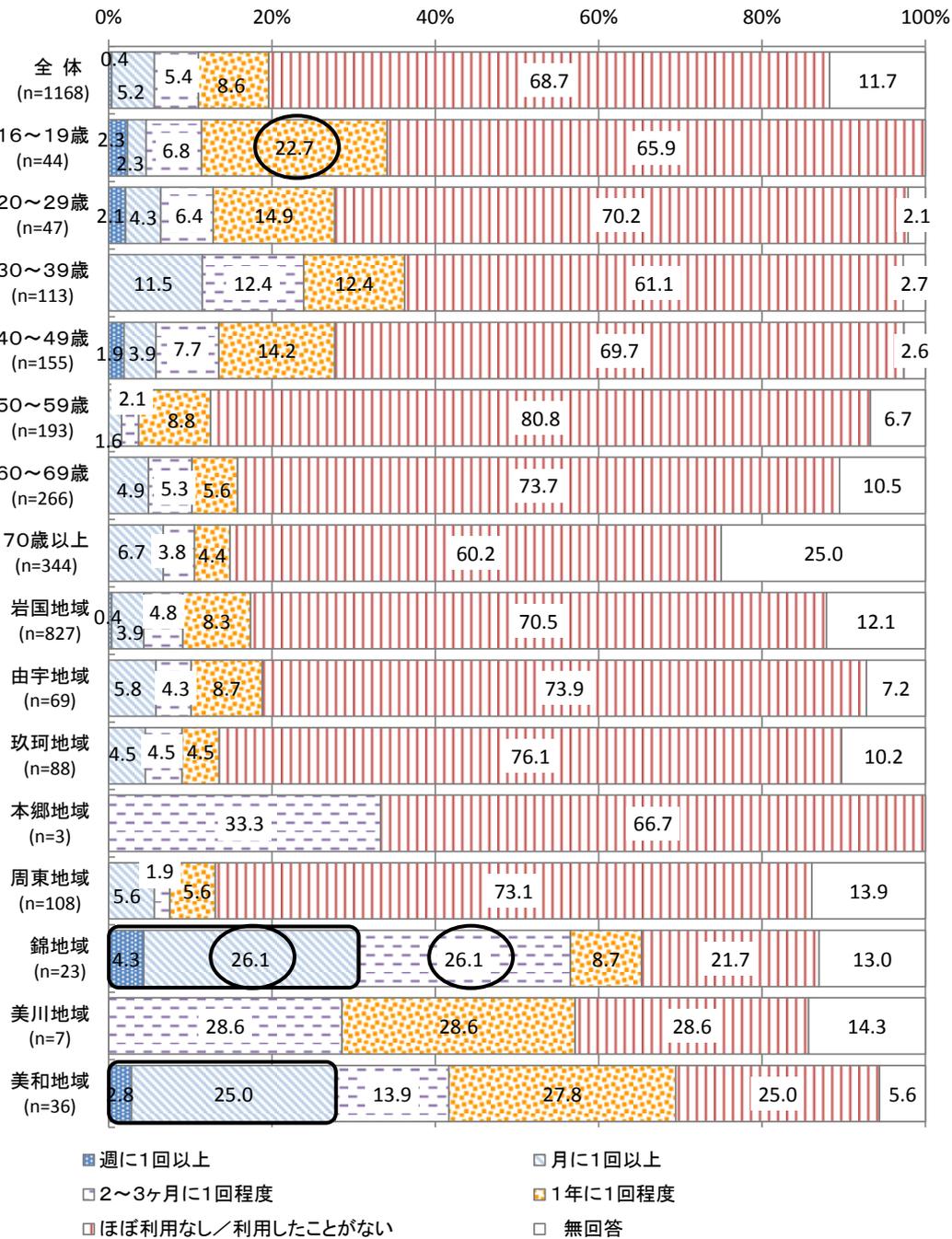
地域別にみると、玖珂地域(3.4%)、周東地域(2.8%)で「週に1回以上」が他と比較して多くなっている。



7. 医療施設(錦中央・美和市立病院等)

年齢別にみると、「1年に1回程度」が16～19歳(22.7%)で全体より多くなっている。

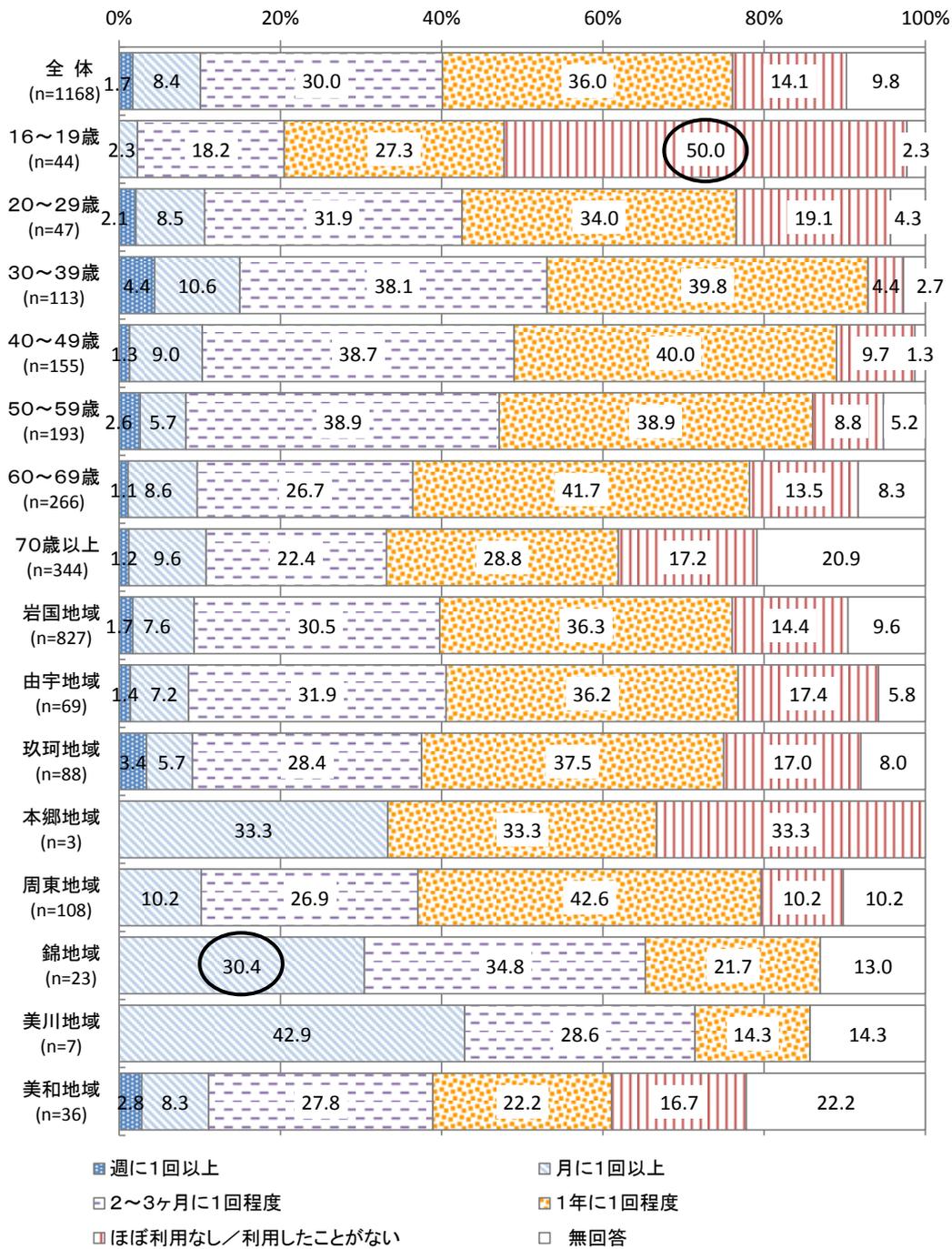
地域別にみると、「月に1回以上」、「2～3ヶ月に1回程度」が錦地域(26.1%)で全体より多くなっている。また、錦地域、美和地域で「週に1回以上」と「月に1回以上」の合計が他と比較して多くなっている。



8. 行政系施設(市役所、支所等)

年齢別にみると、「ほぼ利用なし/利用したことがない」が16～19歳(50.0%)で全体より多くなっている。

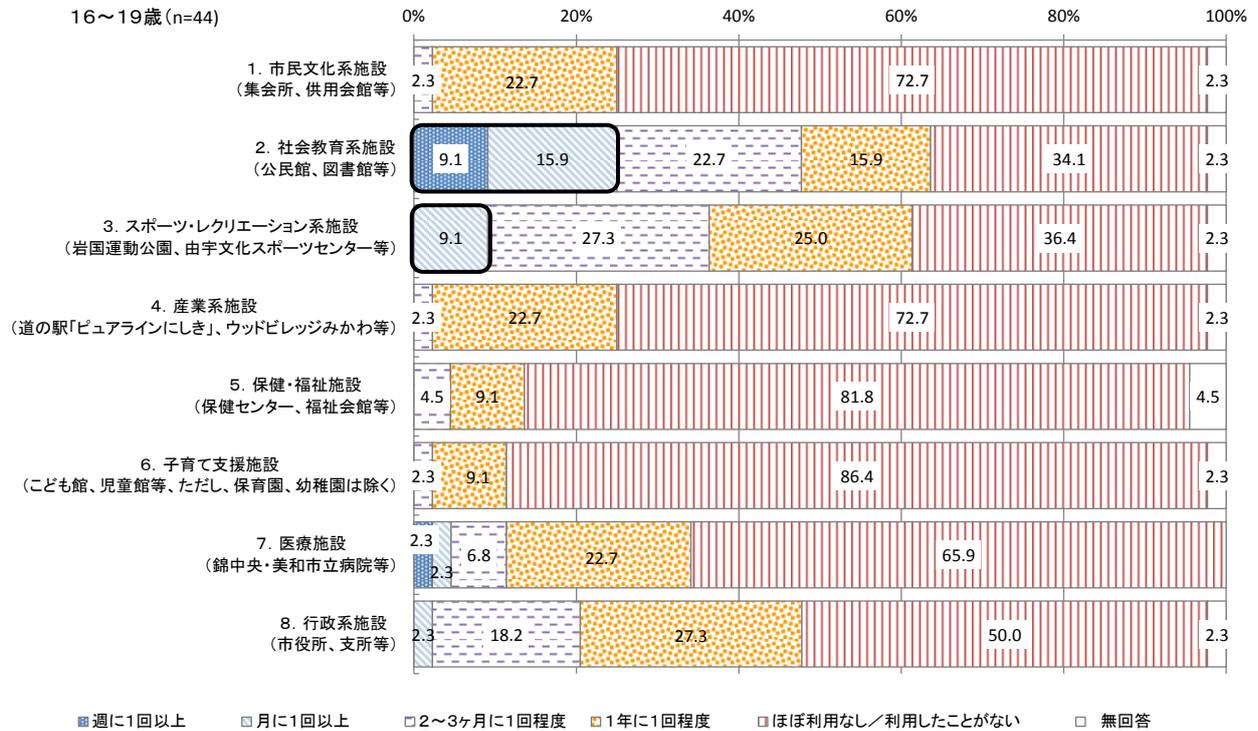
地域別にみると、「月に1回以上」が錦地域(30.4%)で全体より多くなっている。

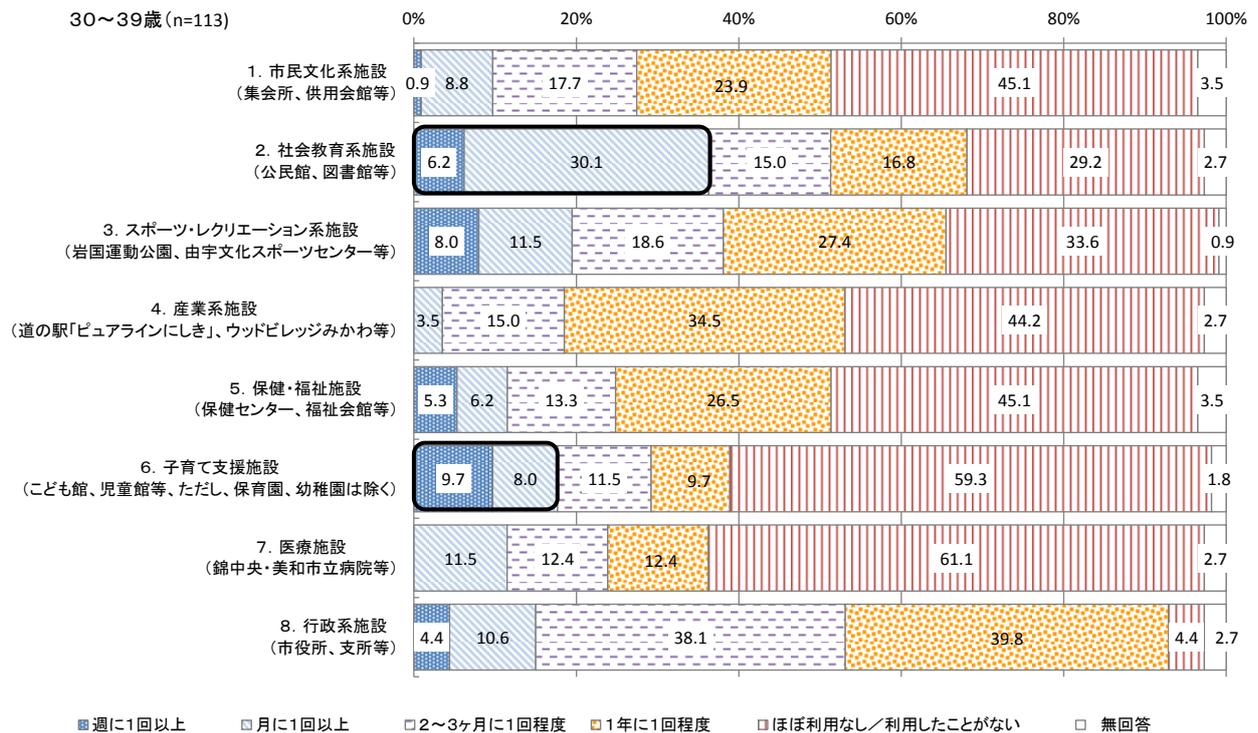
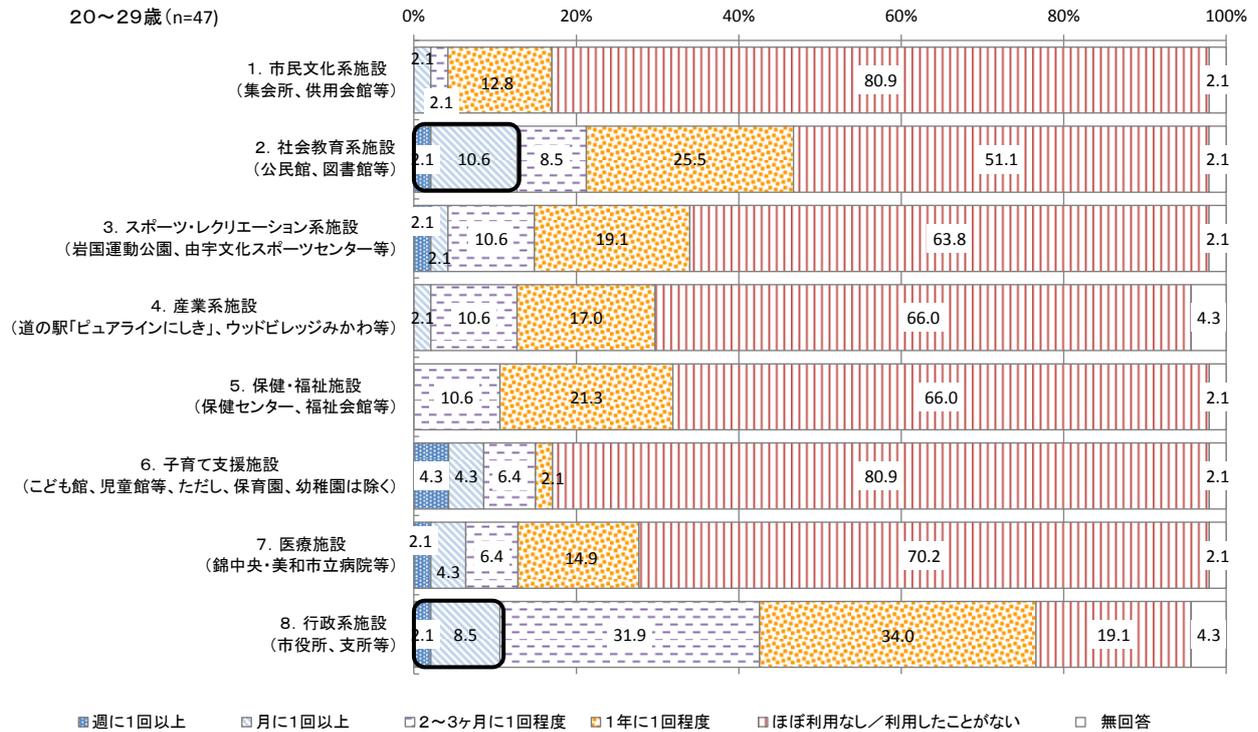


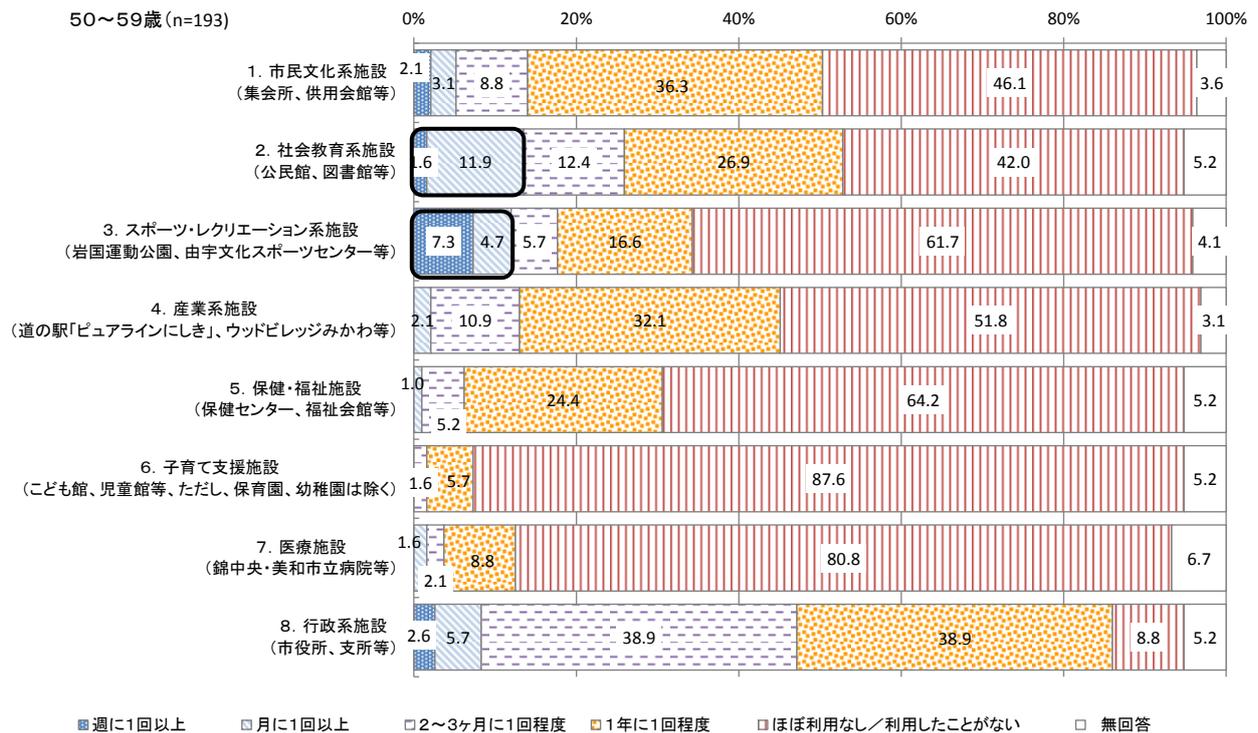
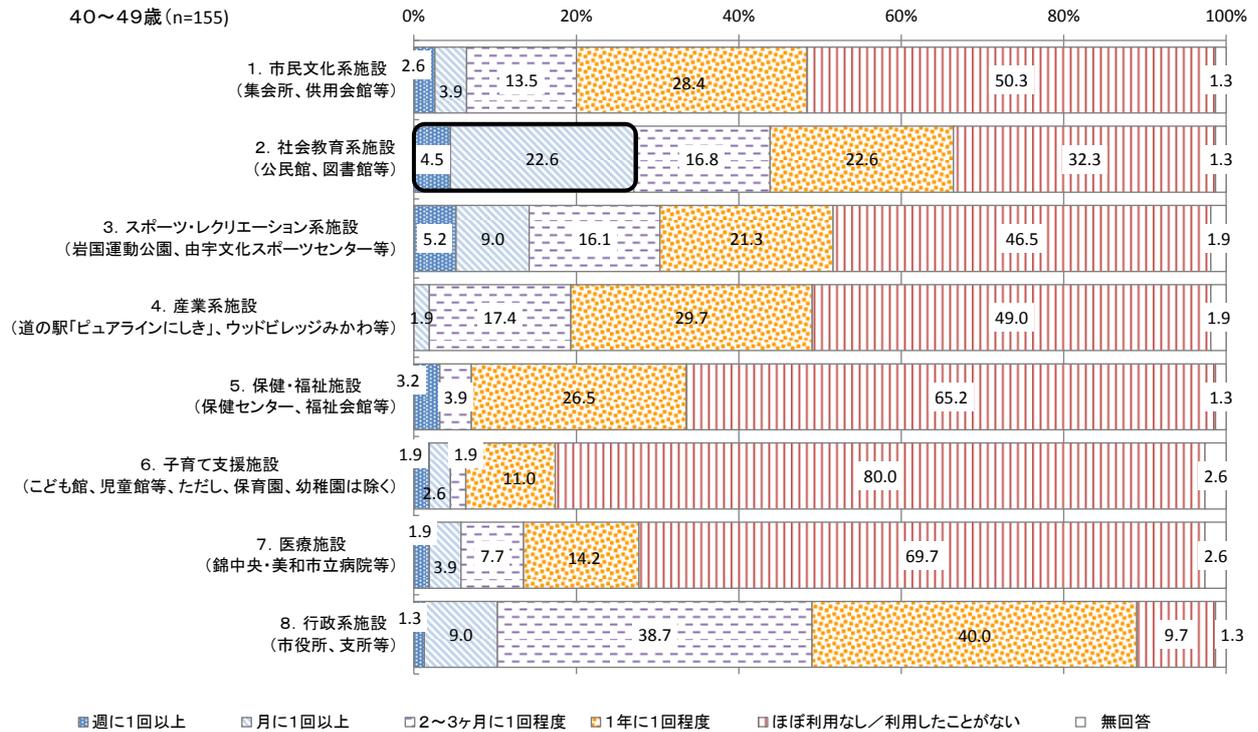
【施設比較】

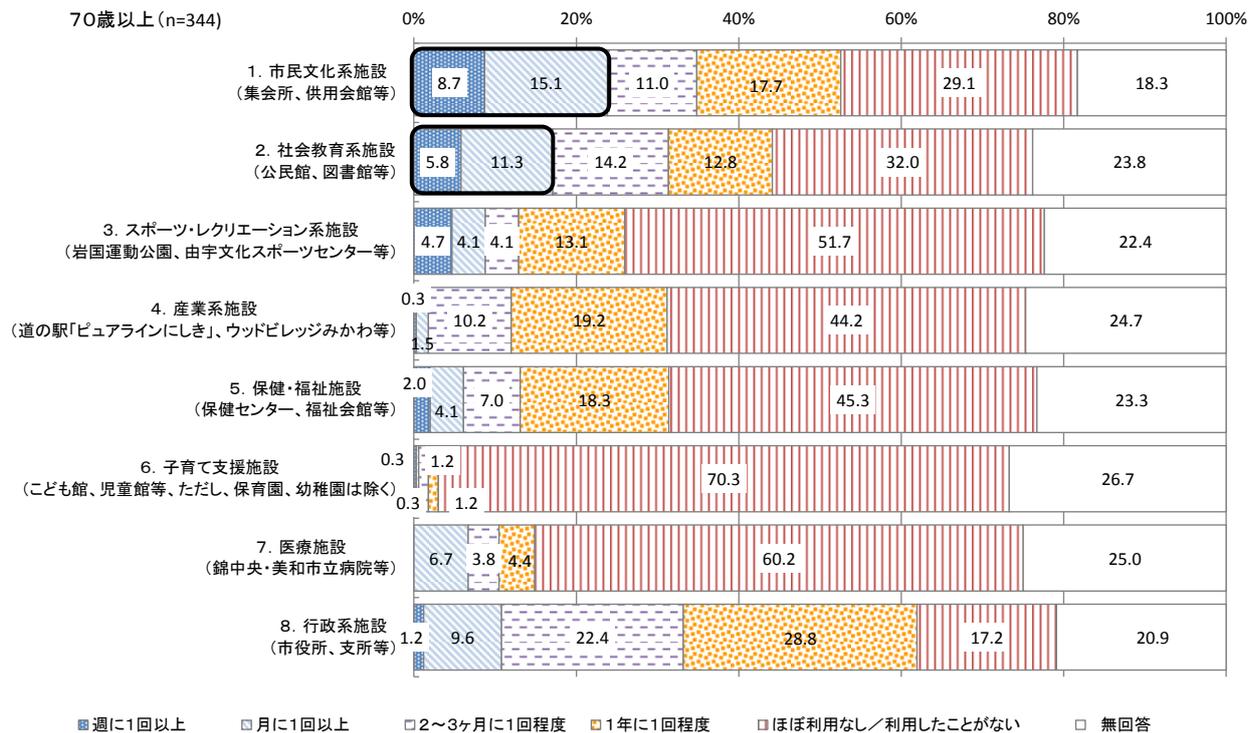
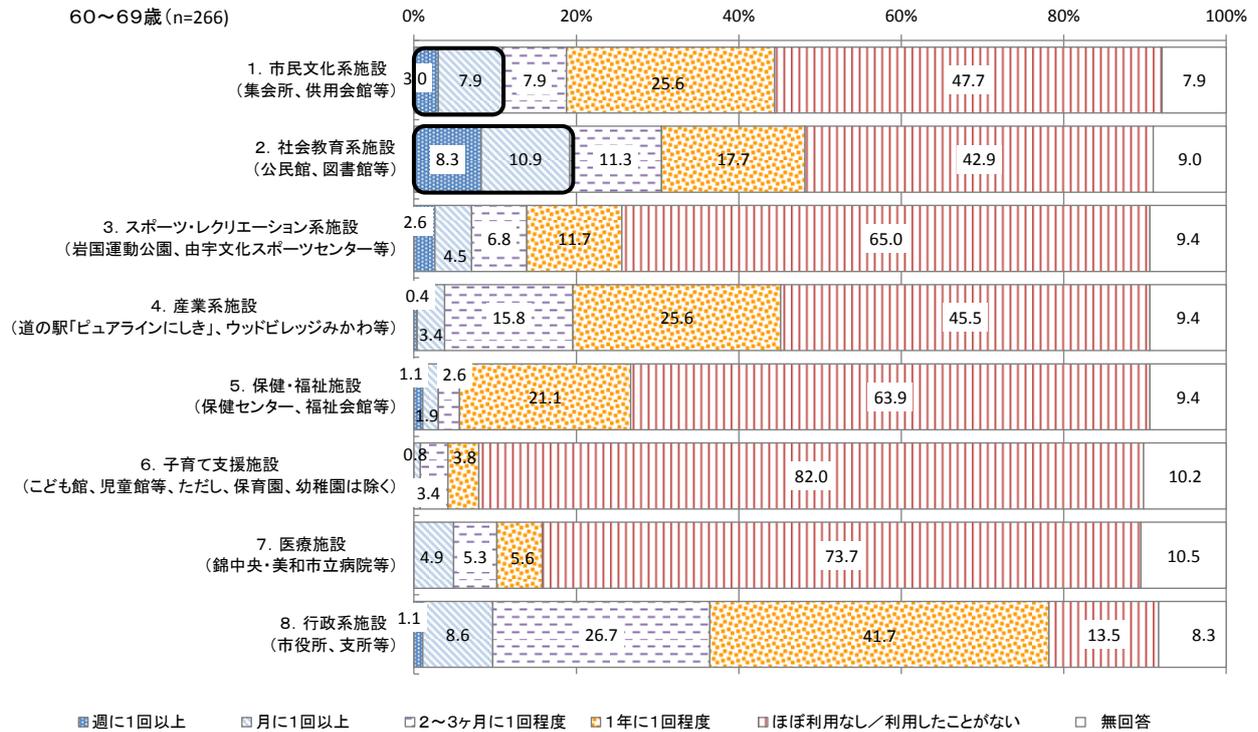
年齢別に施設の利用状況を比較すると、「週に1回以上」と「月に1回以上」の合計が多いのは以下のようになる。

	「週に1回以上」と「月に1回以上」の合計
16～19歳	2. 社会教育系施設（公民館、図書館等） 3. スポーツ・レクリエーション系施設（岩国運動公園、由宇文化スポーツセンター等）
20～29歳	2. 社会教育系施設（公民館、図書館等） 8. 行政系施設（市役所、支所等）
30～39歳	2. 社会教育系施設（公民館、図書館等） 6. 子育て支援施設（こども館、児童館等、ただし、保育園、幼稚園は除く）
40～49歳	2. 社会教育系施設（公民館、図書館等）
50～59歳	2. 社会教育系施設（公民館、図書館等） 3. スポーツ・レクリエーション系施設（岩国運動公園、由宇文化スポーツセンター等）
60～69歳	1. 市民文化系施設（集会所、供用会館等） 2. 社会教育系施設（公民館、図書館等）
70歳以上	1. 市民文化系施設（集会所、供用会館等） 2. 社会教育系施設（公民館、図書館等）



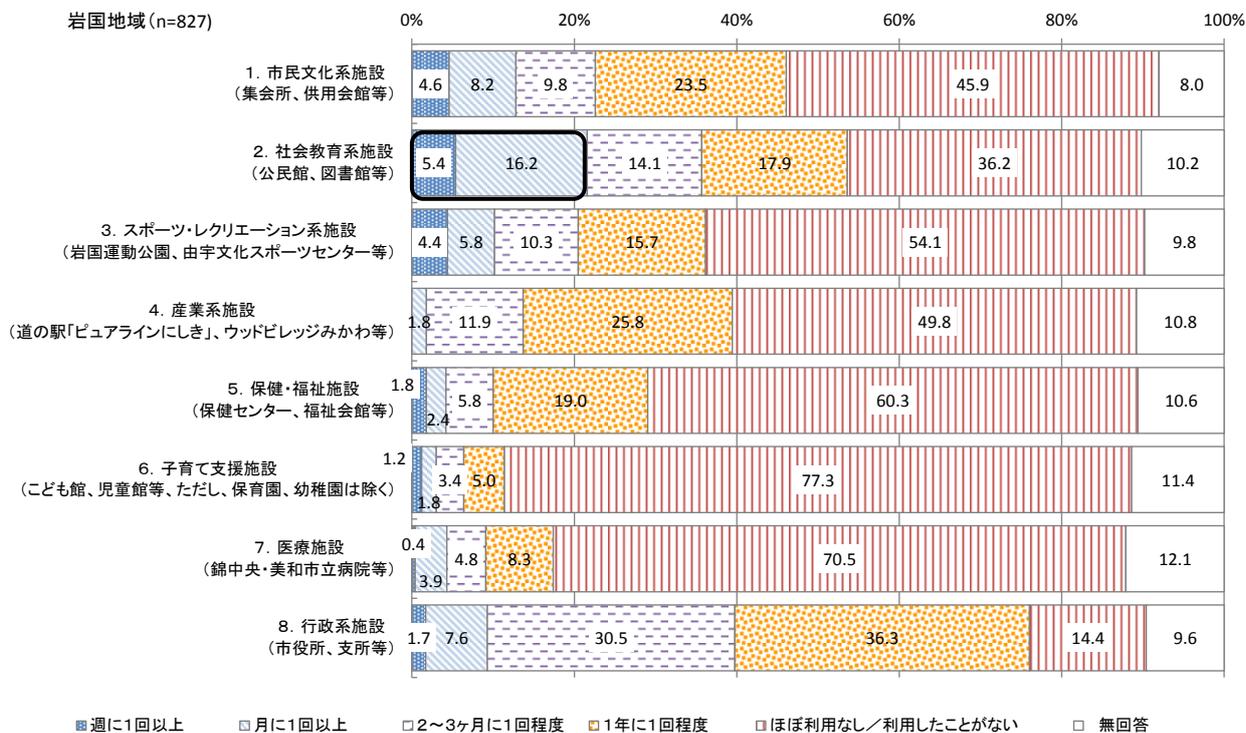


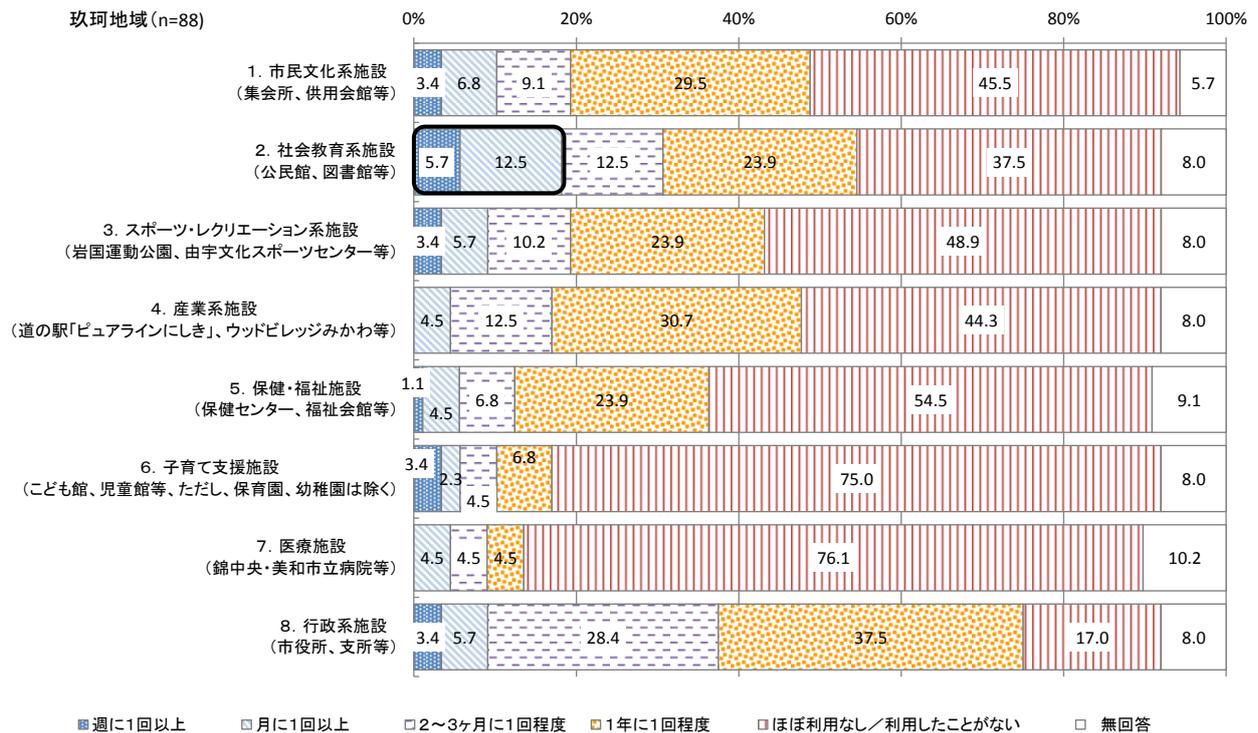
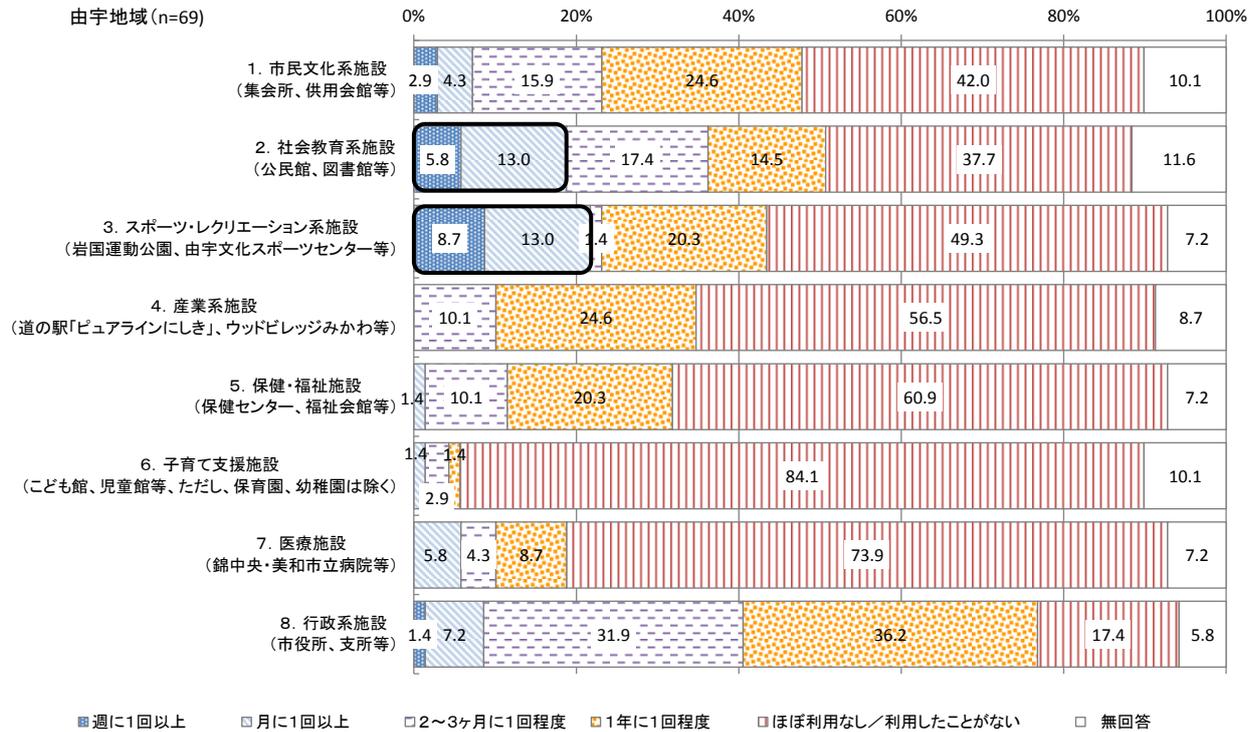


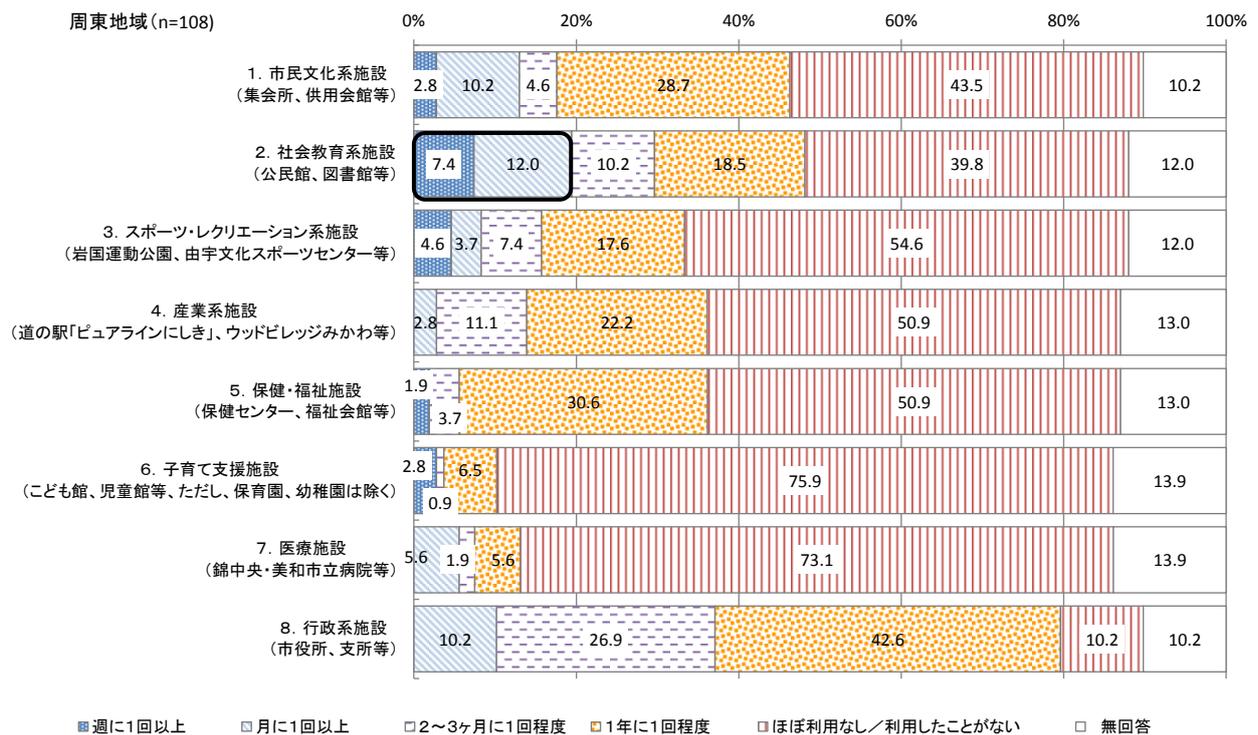
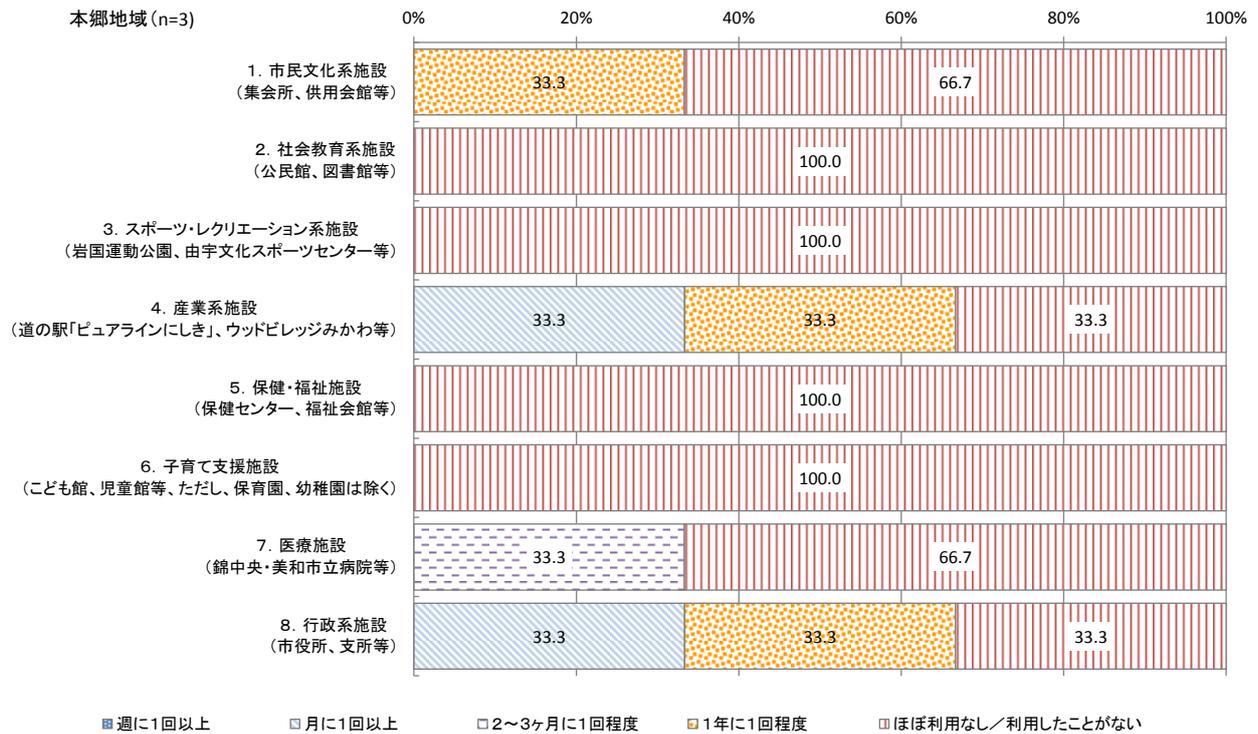


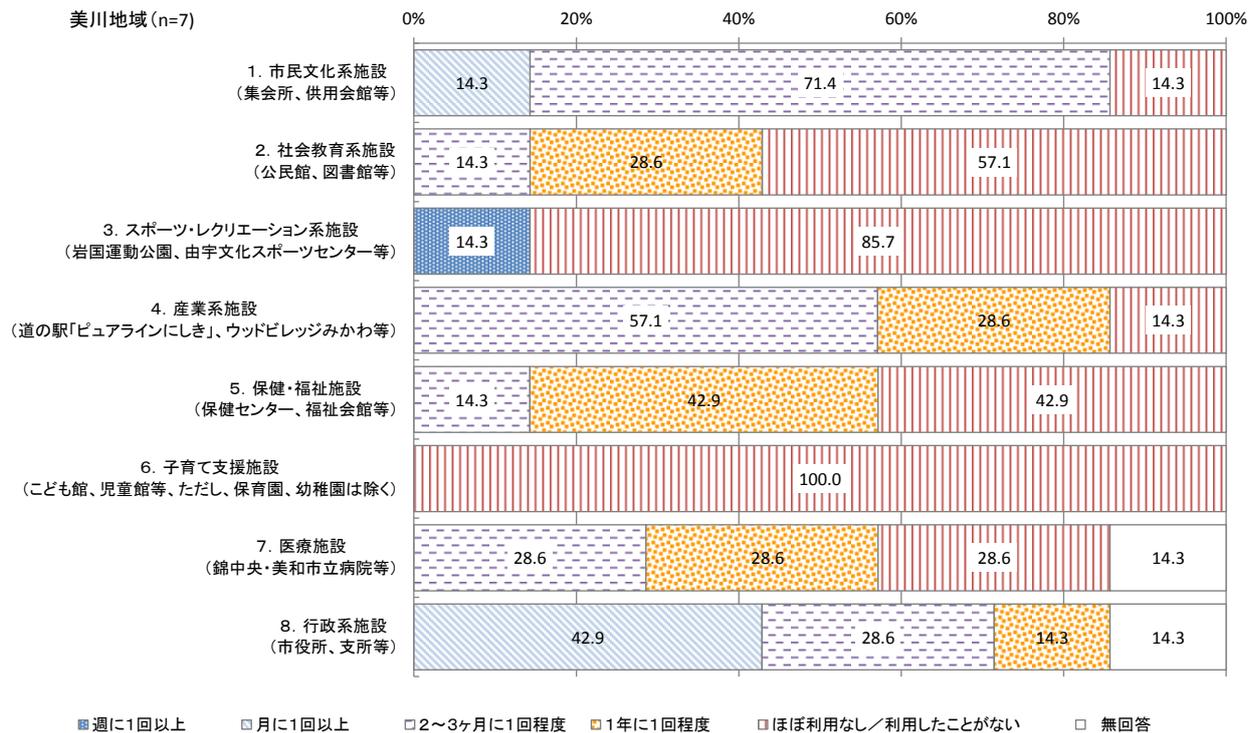
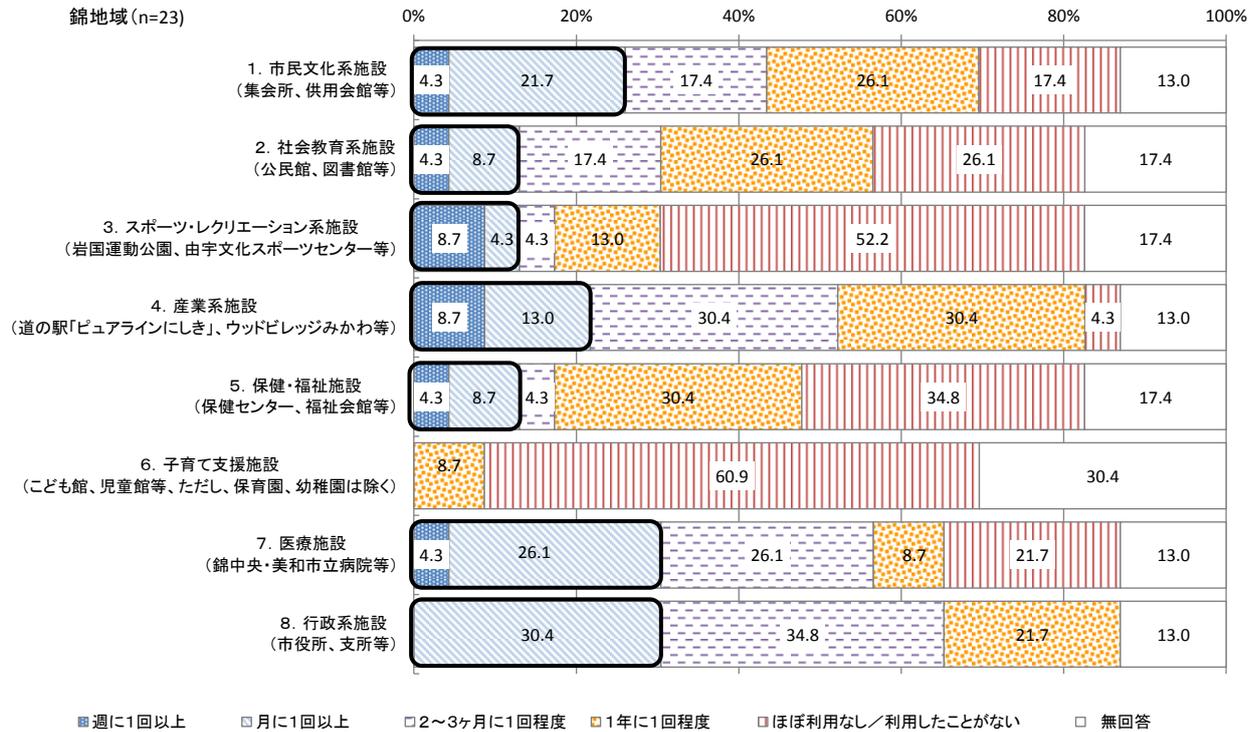
地域別に施設の利用状況を比較すると、「週に1回以上」と「月に1回以上」の合計が多いのは以下ようになる。

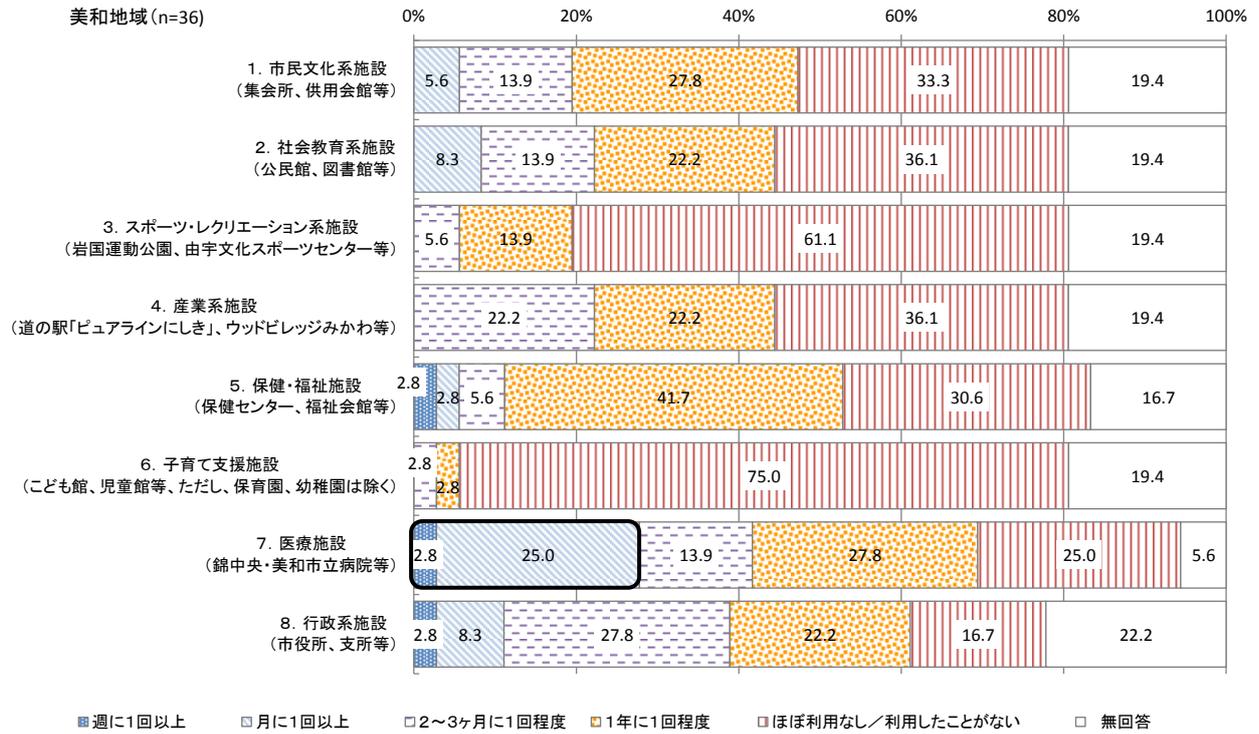
	「週に1回以上」と「月に1回以上」の合計
岩国地域	2. 社会教育系施設（公民館、図書館等）
由宇地域	2. 社会教育系施設（公民館、図書館等） 3. スポーツ・レクリエーション系施設（岩国運動公園、由宇文化スポーツセンター等）
玖珂地域	2. 社会教育系施設（公民館、図書館等）
周東地域	2. 社会教育系施設（公民館、図書館等）
錦地域	1. 市民文化系施設（集会所、供用会館等） 2. 社会教育系施設（公民館、図書館等） 3. スポーツ・レクリエーション系施設（岩国運動公園、由宇文化スポーツセンター等） 4. 産業系施設（道の駅「ピュアラインにしき」、ウッドビレッジみかわ等） 5. 保健・福祉施設（保健センター、福祉会館等） 7. 医療施設（錦中央・美和市立病院等） 8. 行政系施設（市役所、支所等）
美和地域	7. 医療施設（錦中央・美和市立病院等）











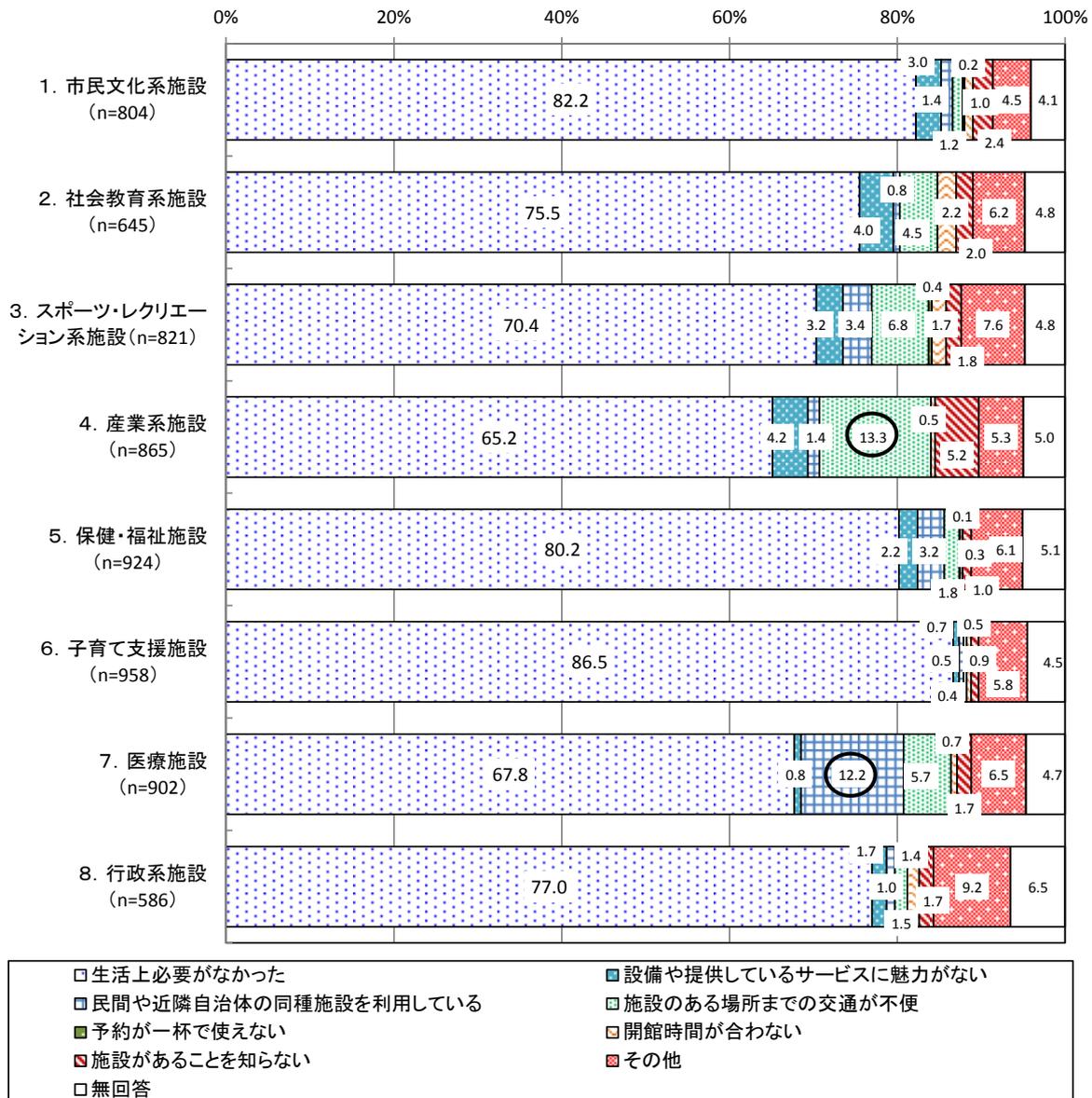
②利用が少ない理由

問6. あなたは、過去1年間で岩国市の公共施設をどの程度利用しましたか。下記の施設ごとに、あなたの利用頻度に最も近いものについて、1～5のいずれか1つに○をつけてください。

問6-1. 上記質問で「4（年1回程度）」、「5（利用なし）」を選択した方におたずねします。利用が少なかった理由で最も近いものについて、1～8のいずれか1つに○をつけて下さい。

全ての施設において「生活上必要がなかった」が最も多くなっている。

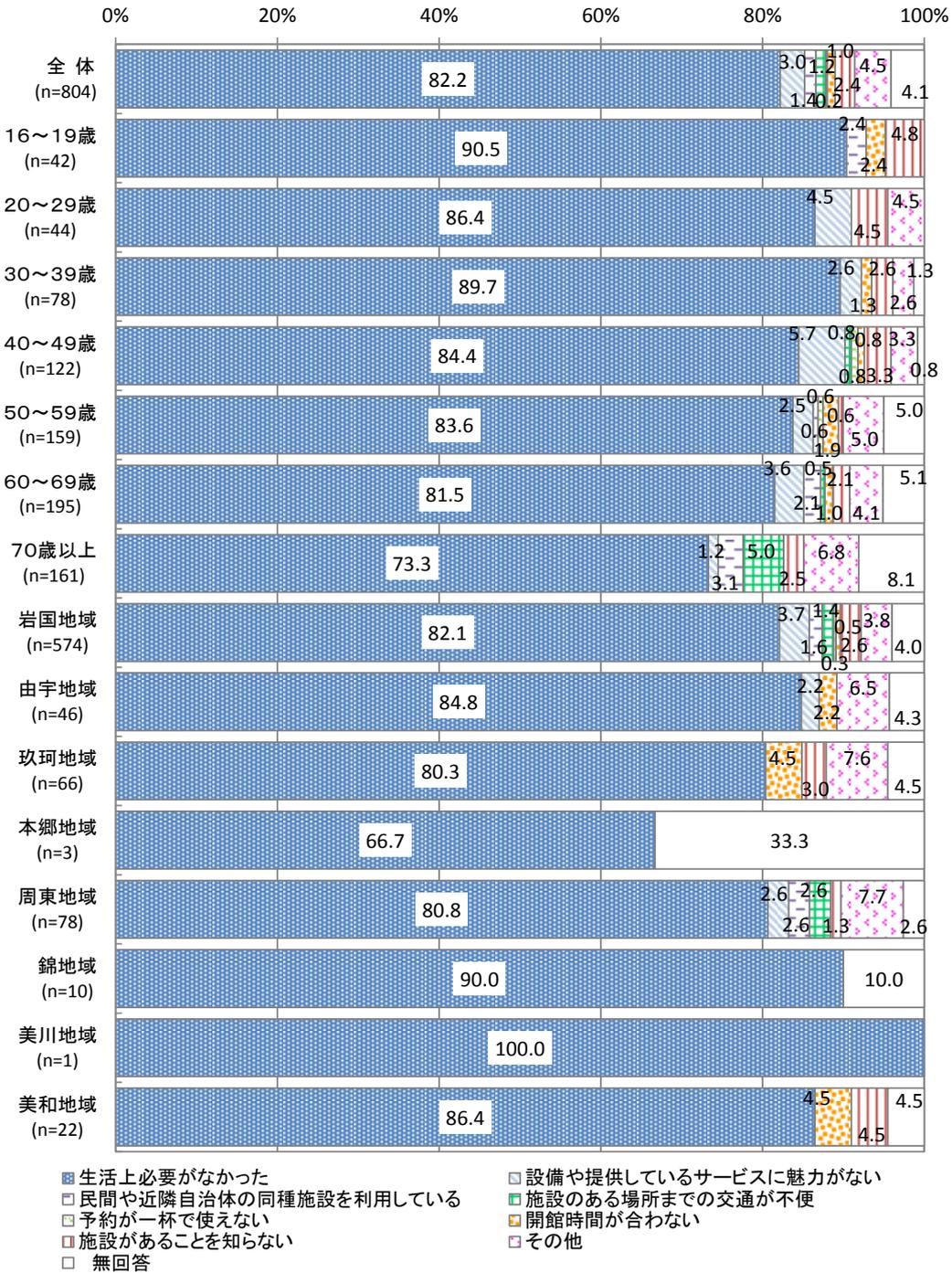
「4. 産業系施設」については「施設のある場所までの交通が不便」の割合が他の施設と比べて高くなっており、また、「7. 医療施設」については「民間や近隣自治体の同種施設を利用している」の割合が他の施設と比べて高くなっている。



<利用が少ない理由>

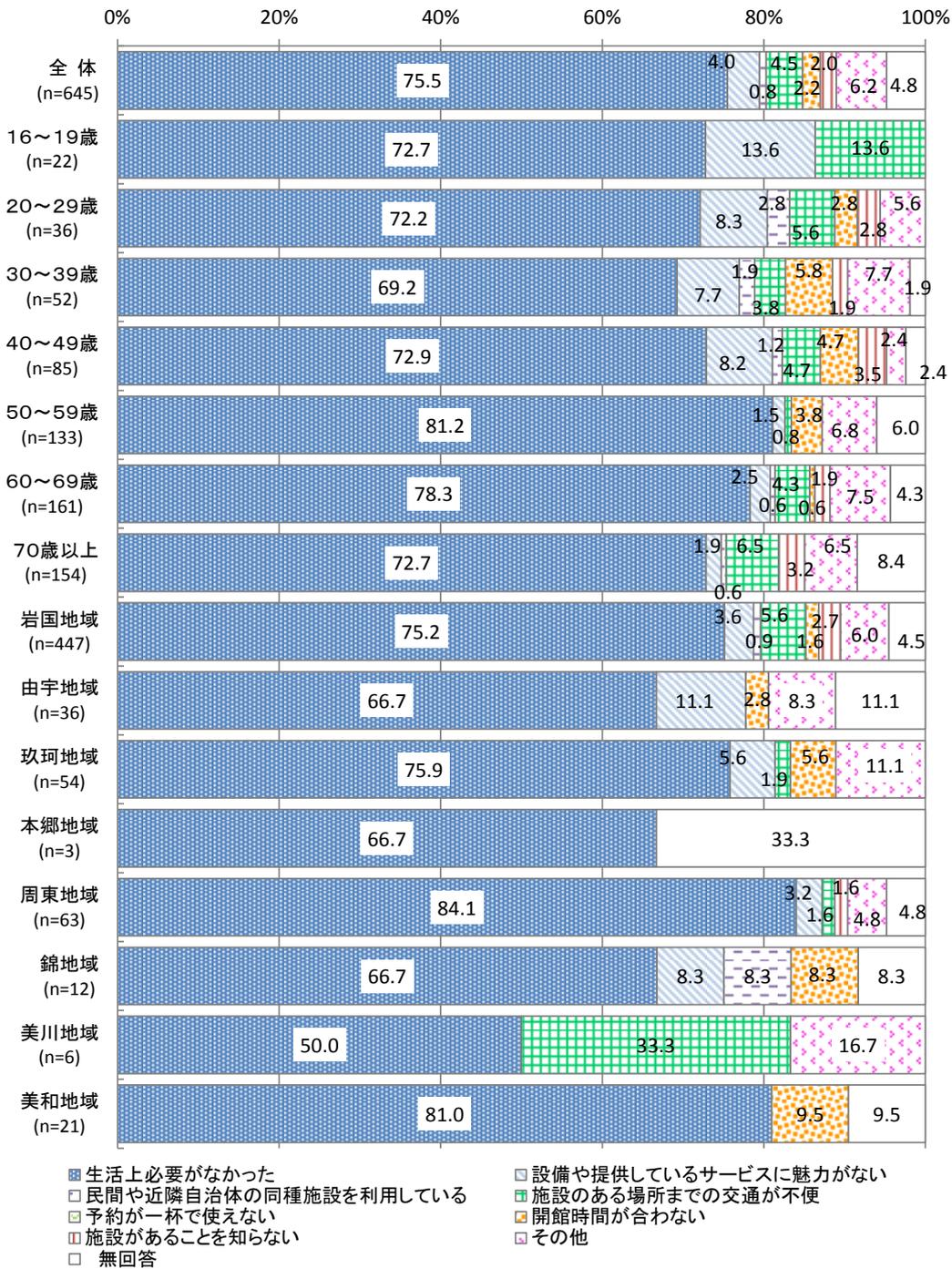
1. 市民文化系施設(集会所、供用会館等)

年齢別、地域別では、全体と同様の傾向を示している。



2. 社会教育系施設(公民館、図書館等)

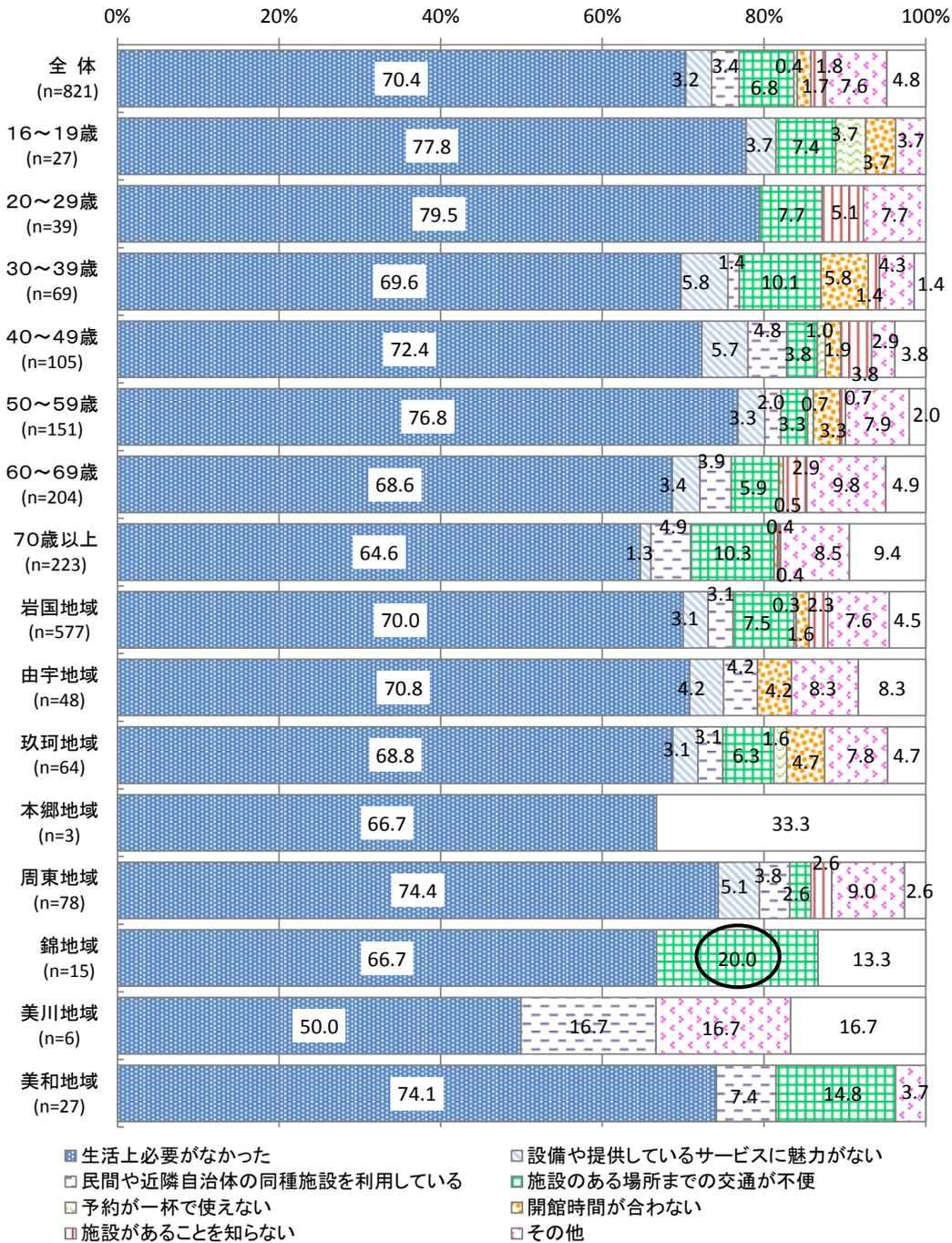
年齢別、地域別では、全体と同様の傾向を示している。



3. スポーツ・レクリエーション系施設(岩国運動公園、由宇文化スポーツセンター等)

年齢別では、全体と同様の傾向を示している。

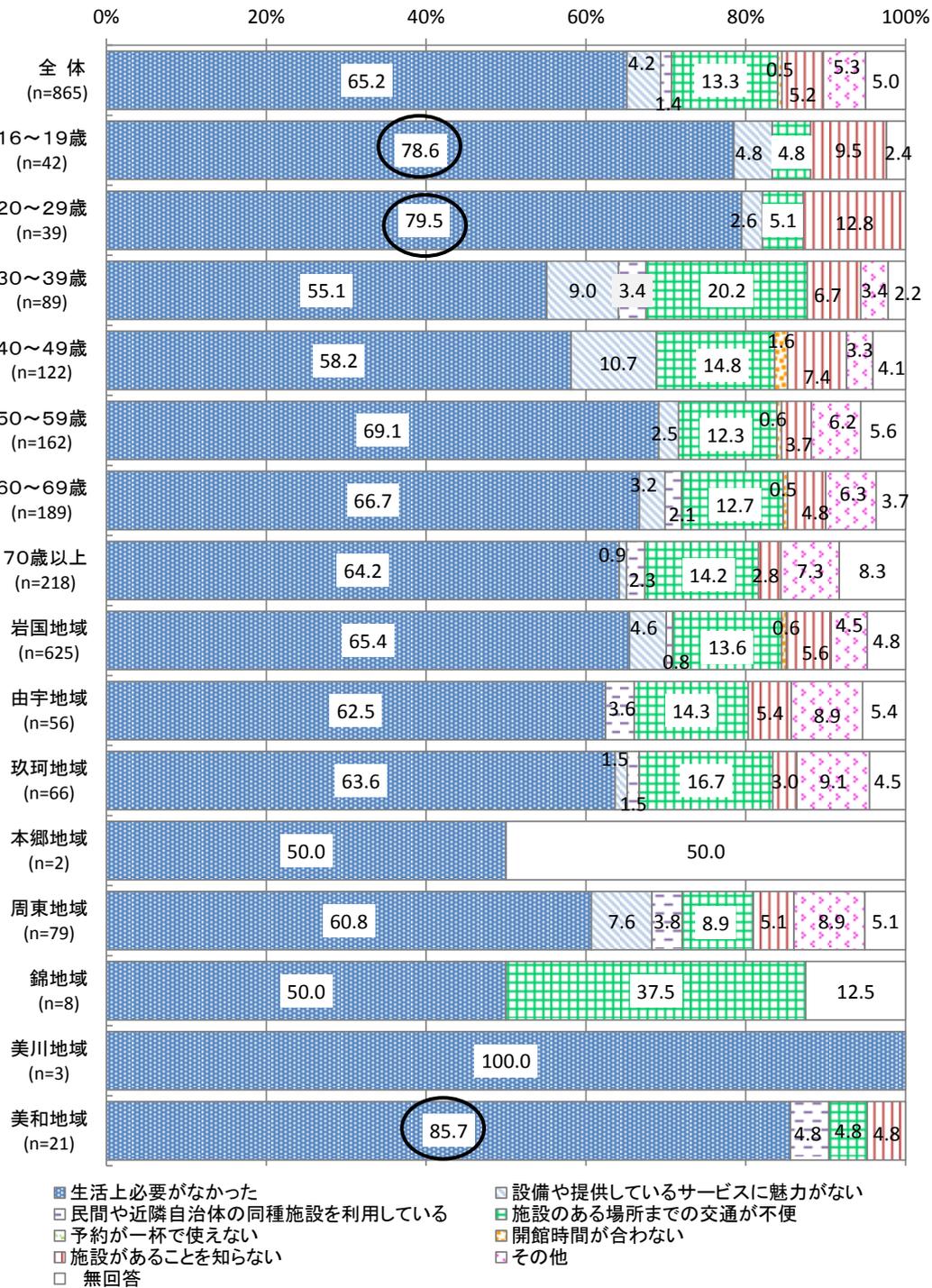
地域別にみると、「施設のある場所までの交通が不便」が錦地域(20.0%)で全体より多くなっている。



4.【産業系施設(道の駅「ピュアラインにしき」、ウッドビレッジみかわ等)】

年齢別にみると、「生活上必要がなかった」が20～29歳(79.5%)、16～19歳(78.6%)で全体より多くなっている。

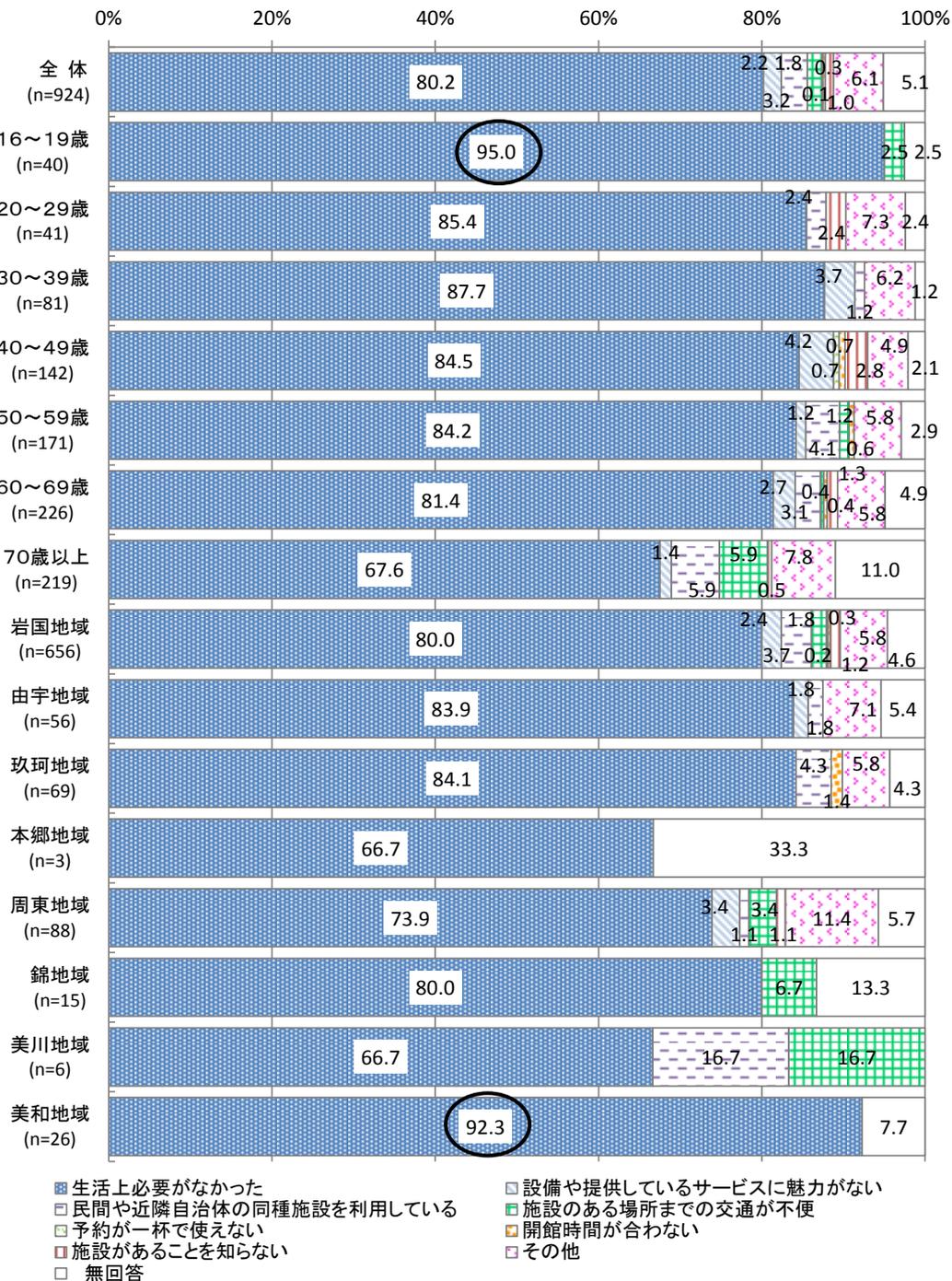
地域別にみると、「生活上必要がなかった」が美和地域(85.7%)で全体より多くなっている。



5. 保健・福祉施設(保健センター、福祉会館等)

年齢別にみると、「生活上必要がなかった」が16～19歳(95.0%)で全体より多くなっている。

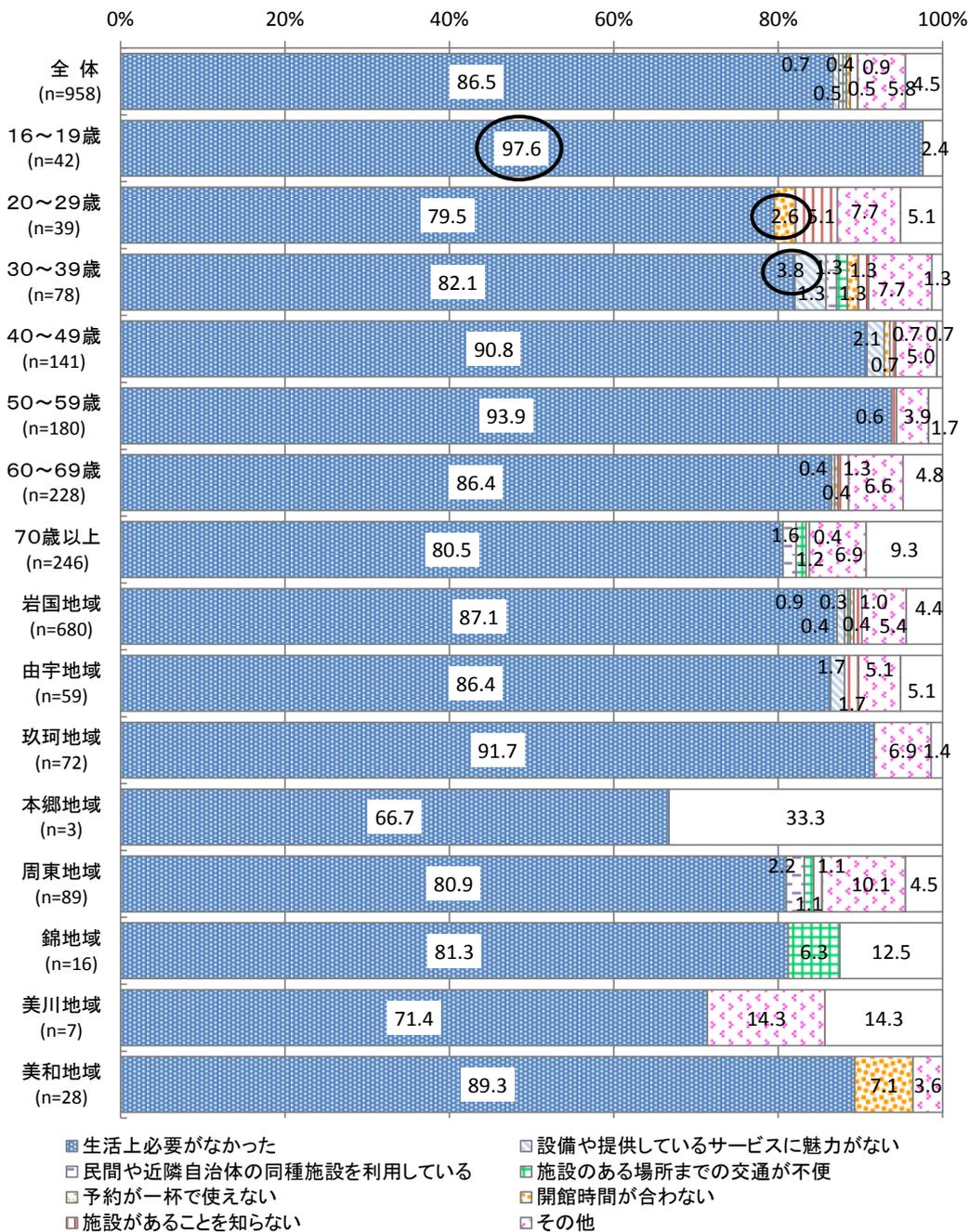
地域別にみると、「生活上必要がなかった」が美和地域(92.3%)で全体より多くなっている。



6. 子育て支援施設(こども館、児童館等、ただし、保育園、幼稚園は除く)

年齢別にみると、「生活上必要がなかった」が16～19歳(97.6%)で全体より多くなっている。また、子育て世代の20～29歳で「開館時間が合わない」、30～39歳で「設備や提供しているサービスに魅力がない」が他と比較して多くなっている。

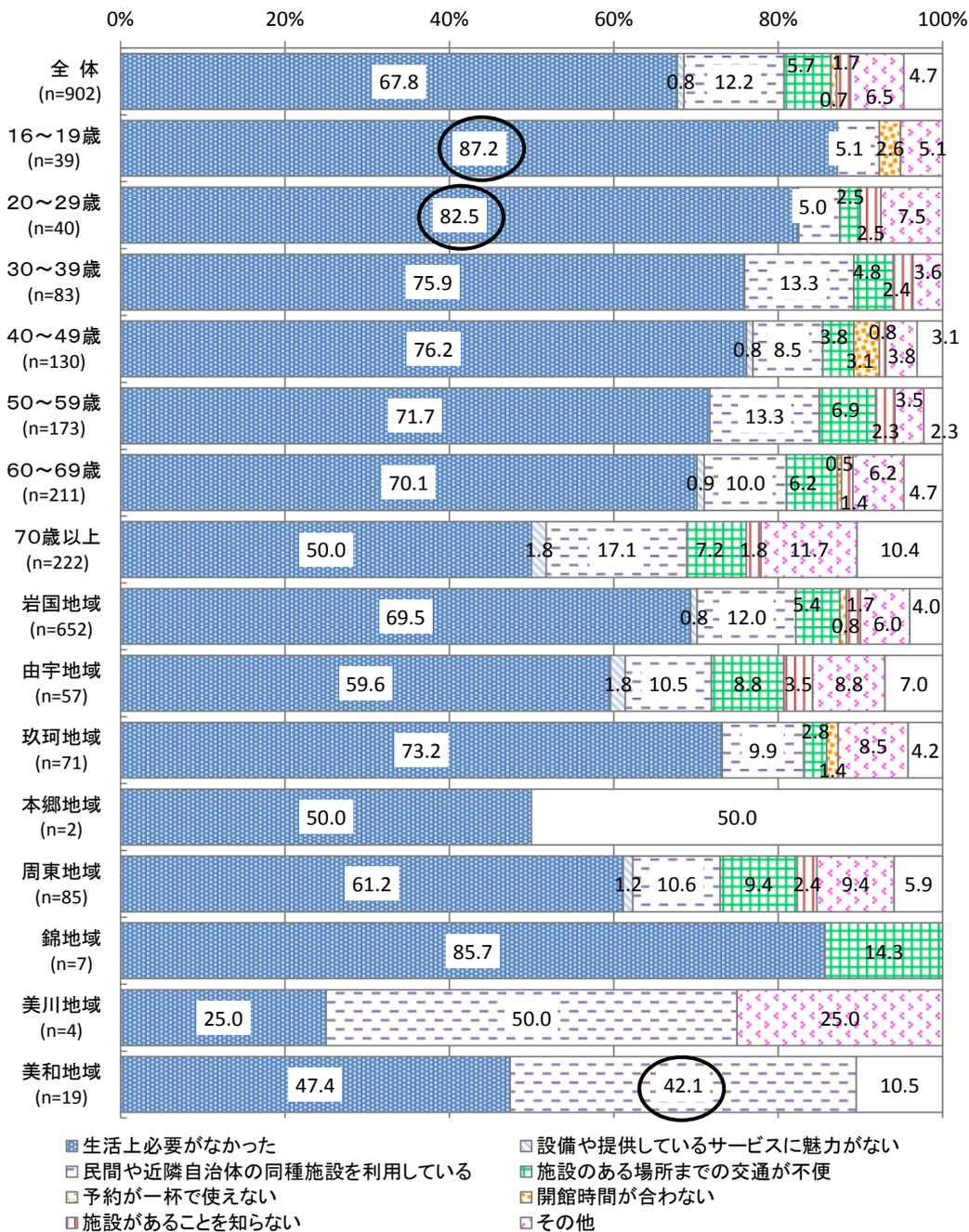
地域別では、全体と同様の傾向を示している。



7. 医療施設(錦中央・美和市立病院等)

年齢別にみると、「生活上必要がなかった」が16～19歳(87.2%)、20～29歳(82.5%)で全体より多くなっている。

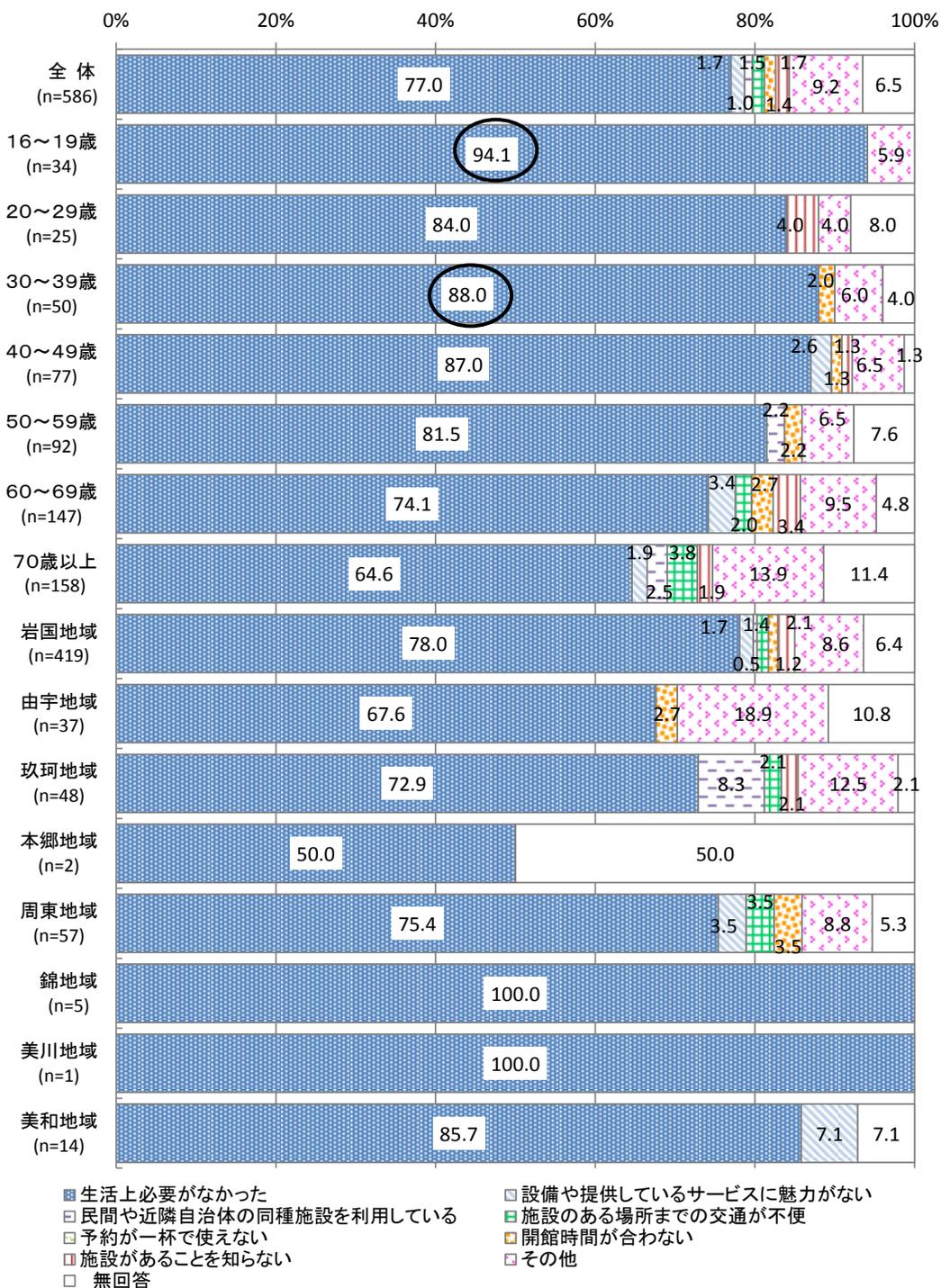
地域別にみると、「民間や近隣自治体の同種施設を利用している」が美和地域(42.1%)で全体より多くなっている。



8. 行政系施設(市役所、支所等)

年齢別にみると、「生活上必要がなかった」が16～19歳(94.1%)、30～39歳(88.0%)で全体より多くなっている。

地域別では、全体と同様の傾向を示している。



2.4 公共施設のあり方について

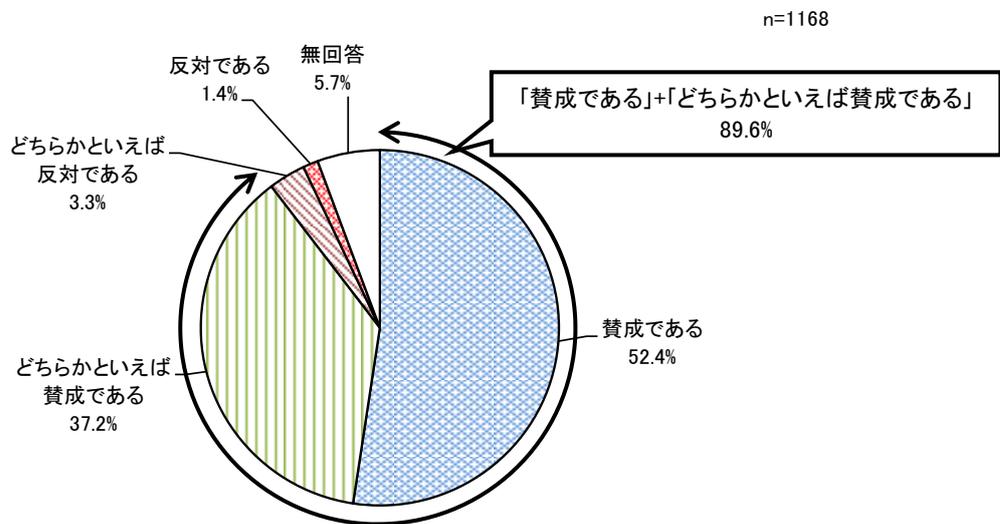
1) 公共施設マネジメントの考え方

①可否

問7. 岩国市は、公共施設マネジメント※1を進めるにあたって、施設の老朽化が進み使えなくなる前に、今までのサービスを維持しながら、施設の適正な数、規模、配置の見直しに取り組んでいく必要があると考えています。この考え方についてどう思われますか。1～4のいずれか1つに○をつけ、それぞれの選択内容に沿って、「問7-1」または「問7-2」の質問に回答してください。

※1：公共施設マネジメント：公共施設を次世代に引き継ぐための適正化に向けた取り組み

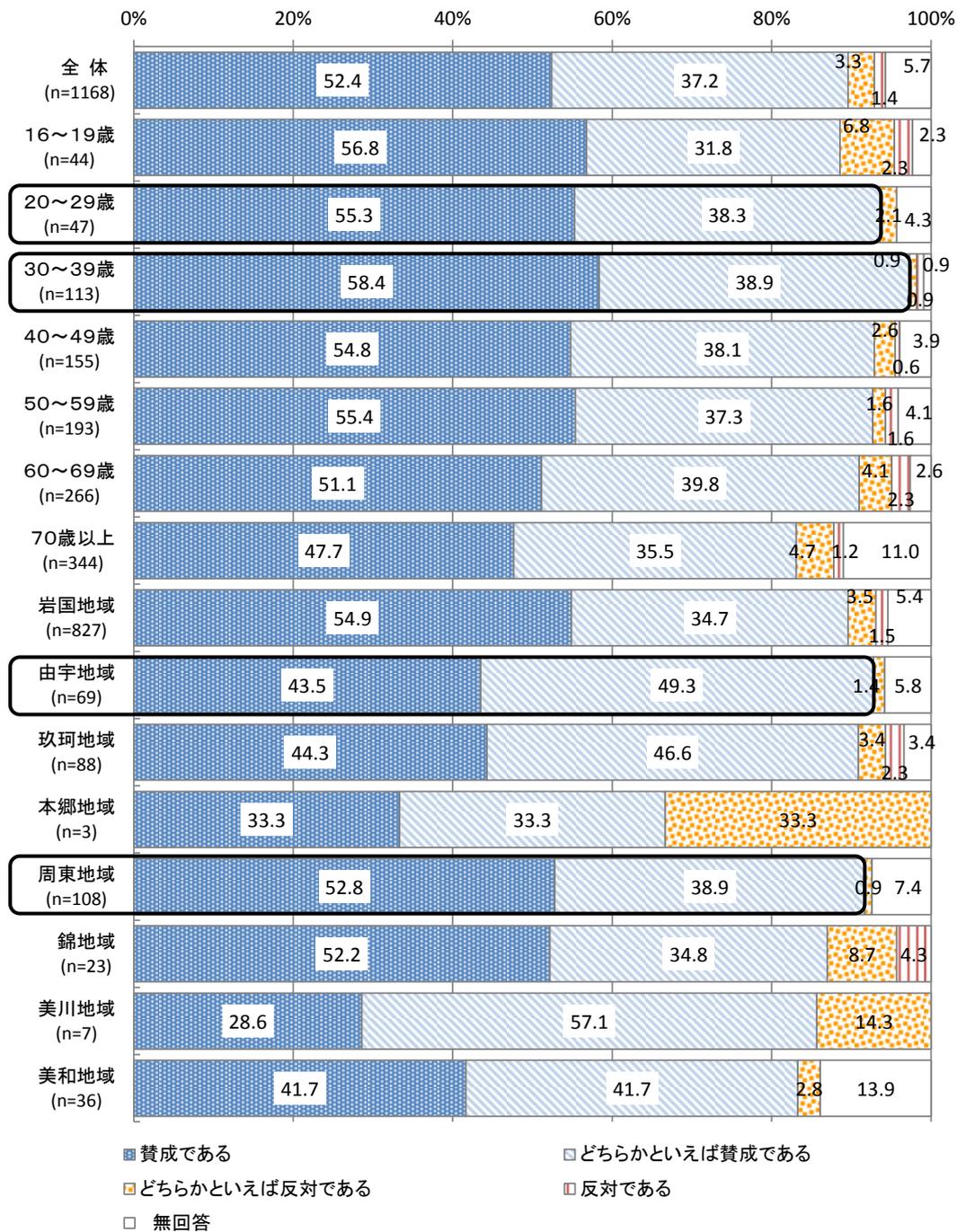
公共施設マネジメントへの可否は、「賛成である（52.4%）」と「どちらかといえば賛成である（37.2%）」を足すと、89.6%と約9割の方が賛成している。



<可否>

年齢別にみると、「賛成である」と「どちらかといえば賛成である」を足すと、30～39歳が97.3%でもっとも多く、次いで20～29歳が93.6%となっている。どの年代においても約9割が賛成している。

地域別にみると、「賛成である」と「どちらかといえば賛成である」を足すと、由宇地域が92.8%でもっとも多く、次いで、周東地域が91.7%となっている。



②施設の見直しについて

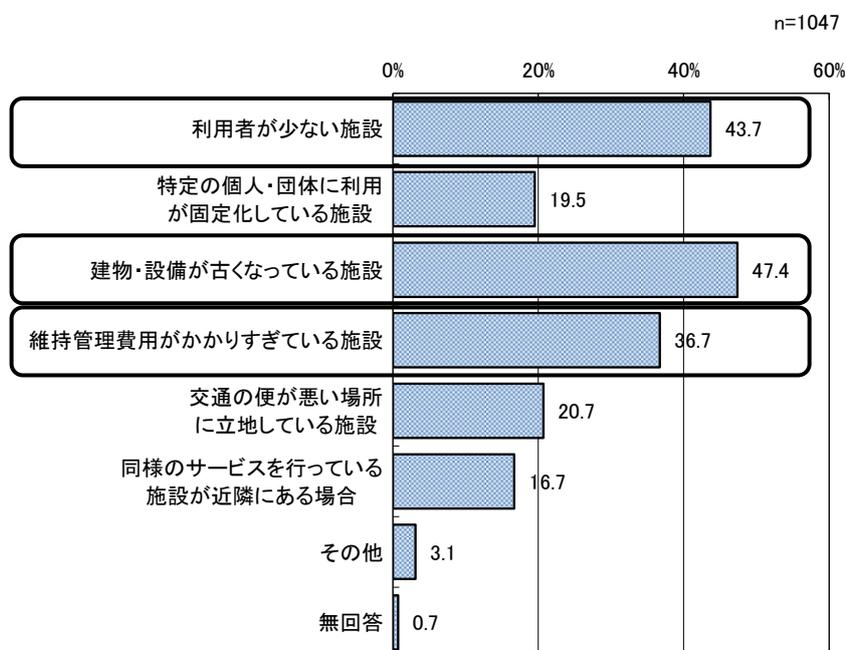
問7. 岩国市は、公共施設マネジメント^{※1}を進めるにあたって、施設の老朽化が進み使えなくなる前に、今までのサービスを維持しながら、施設の適正な数、規模、配置の見直しに取り組んでいく必要があると考えています。この考え方についてどう思われますか。1～4のいずれか1つに○をつけ、それぞれの選択内容に沿って、「問7-1」または「問7-2」の質問に回答してください。

※1：公共施設マネジメント：公共施設を次世代に引き継ぐための適正化に向けた取り組み

問7-1. 上記質問で「1（賛成）」、「2（どちらかといえば賛成）」を選択した方におたずねします。

どのような施設の見直しを行うとよいと思われますか。あなたの考えに最も近いもの2つに○をつけてください。

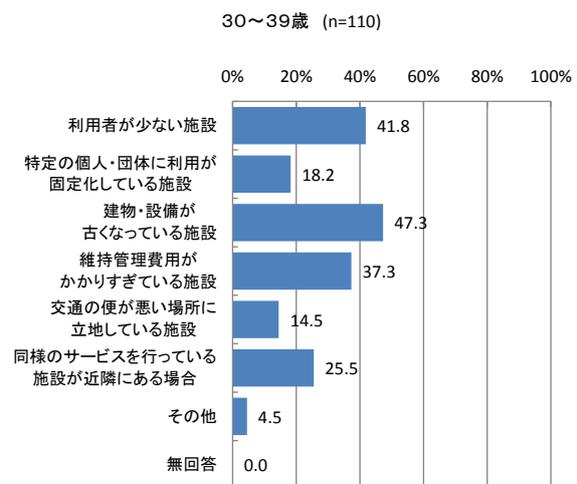
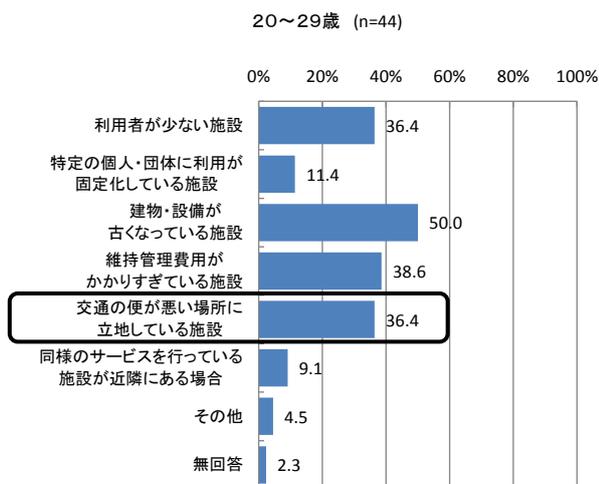
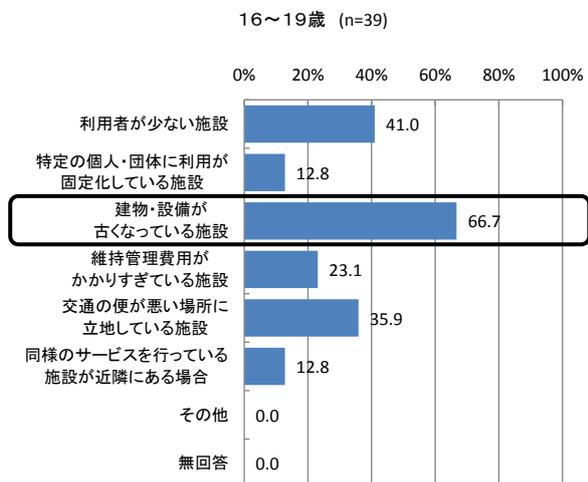
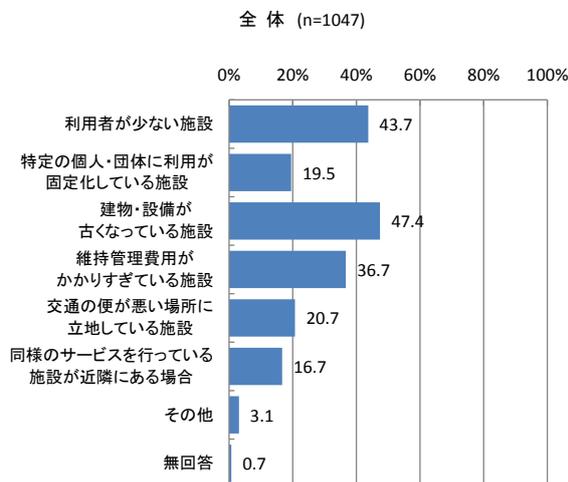
施設の見直しについては、「建物・設備が古くなっている施設」（47.4%）の割合が高く、次いで「利用者が少ない施設」（43.7%）、「維持管理費用がかかりすぎている施設」（36.7%）となっている。



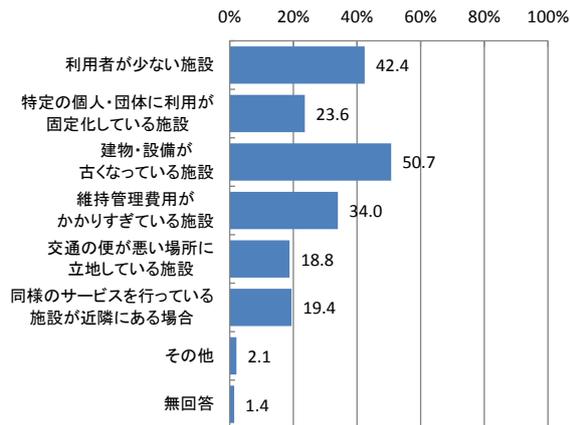
<施設の見直しについて>

年齢別にみると、「建物・設備が古くなっている施設」が16～19歳（66.7%）、「交通の便が悪い場所に立地している施設」が20～29歳（36.4%）で全体より多くなっている。

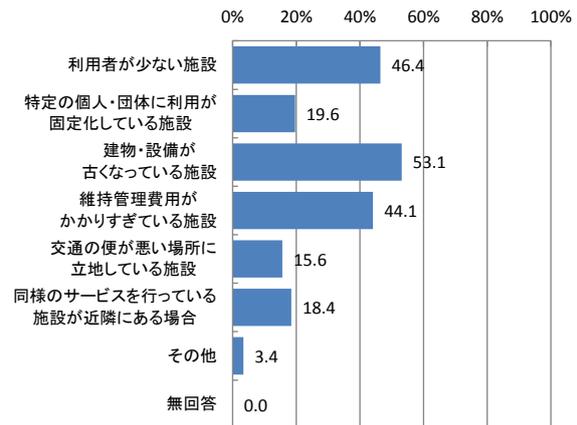
地域別にみると、「同様のサービスを行っている施設が近隣にある場合」が錦地域（30.0%）で全体より多くなっている。



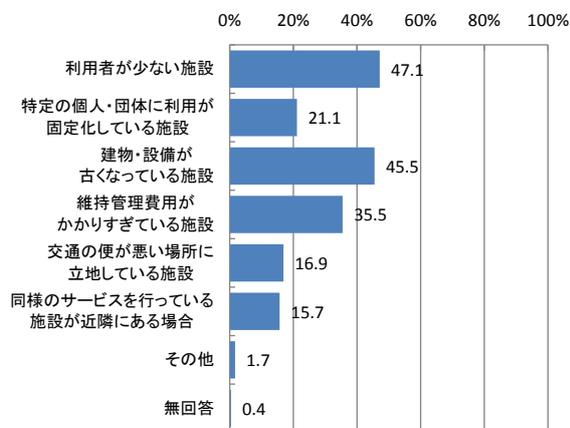
40～49歳 (n=144)



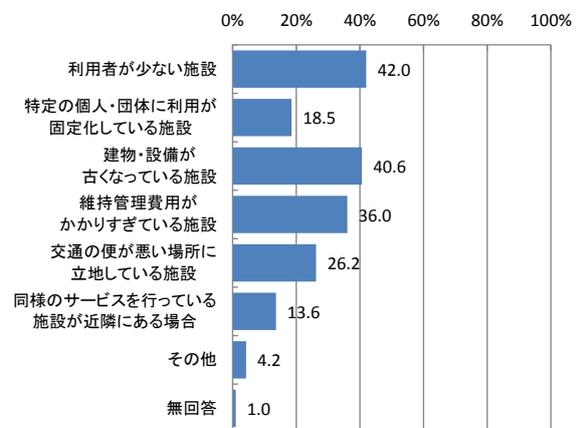
50～59歳 (n=179)



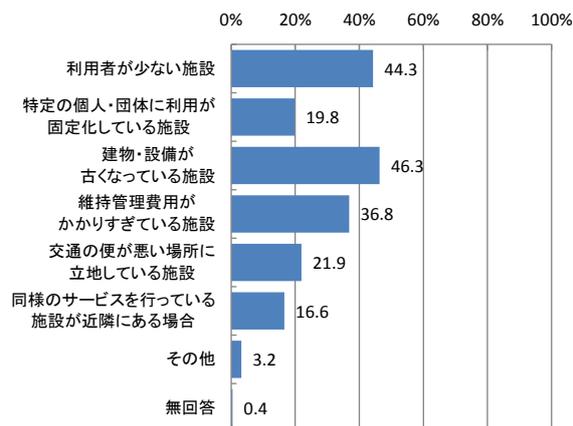
60～69歳 (n=242)



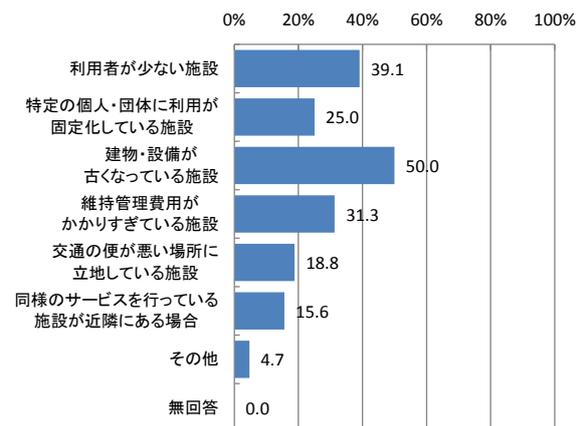
70歳以上 (n=286)



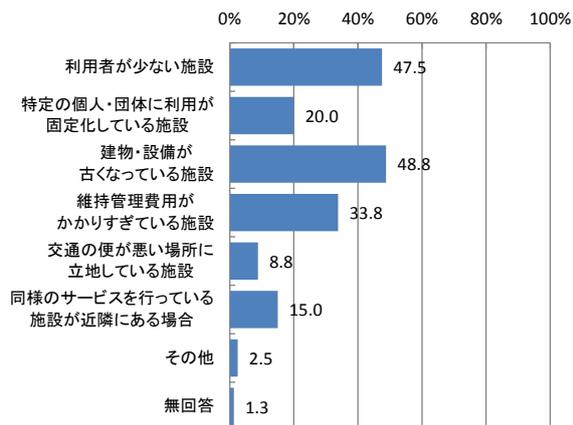
岩国地域 (n=741)



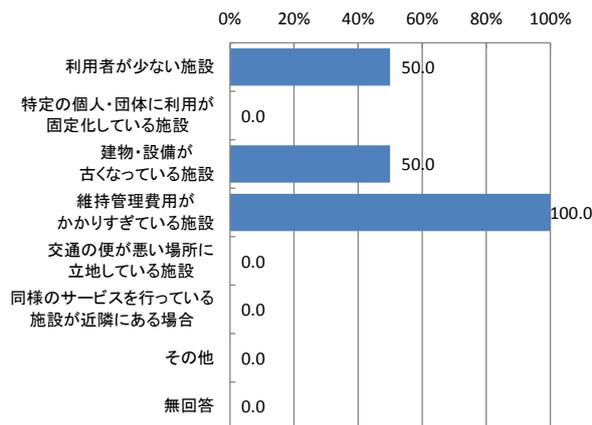
由宇地域 (n=64)



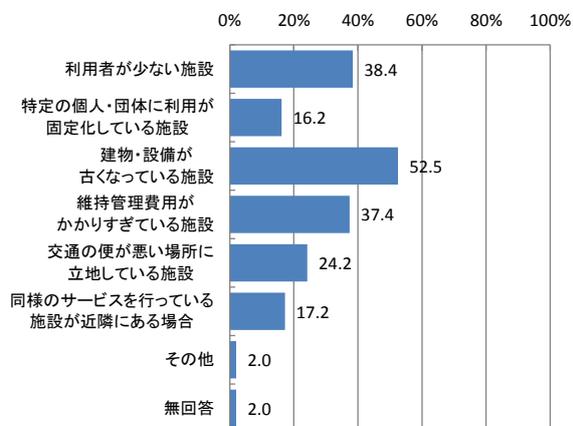
玖珂地域 (n=80)



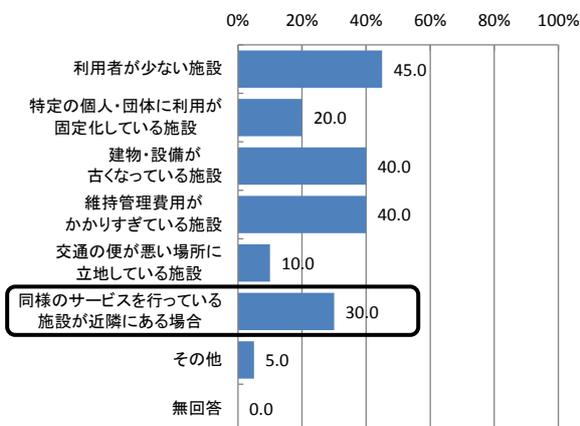
本郷地域 (n=2)



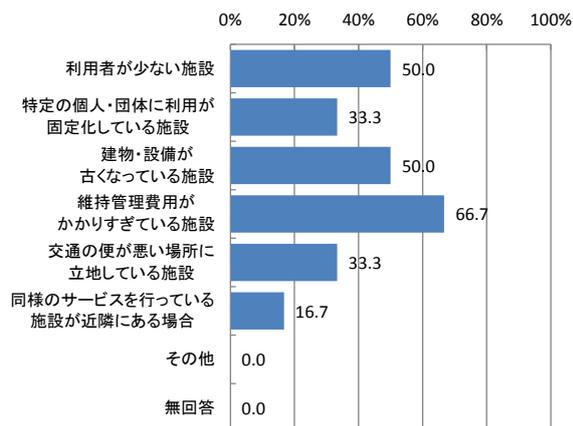
周東地域 (n=99)



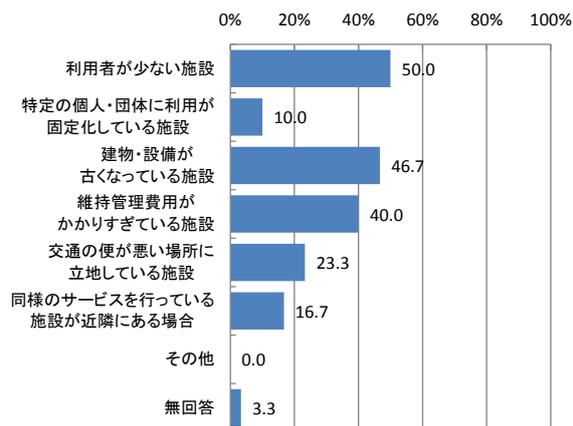
錦地域 (n=20)



美川地域 (n=6)



美和地域 (n=30)



③施設の見直しの反対理由

問7. 岩国市は、公共施設マネジメント^{※1}を進めるにあたって、施設の老朽化が進み使えなくなる前に、今までのサービスを維持しながら、施設の適正な数、規模、配置の見直しに取り組んでいく必要があると考えています。

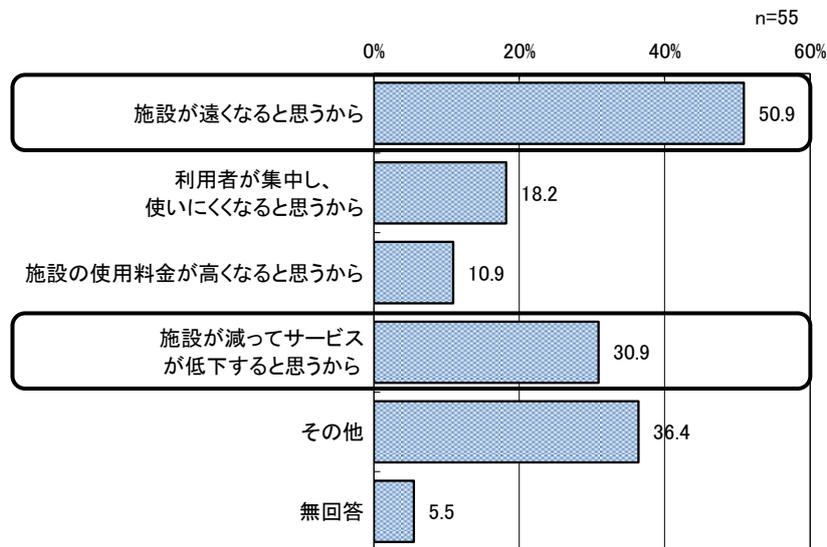
この考え方についてどう思われますか。1～4のいずれか1つに○をつけ、それぞれの選択内容に沿って、「問7-1」または「問7-2」の質問に回答してください。

※1：公共施設マネジメント：公共施設を次世代に引き継ぐための適正化に向けた取り組み

問7-2. 上記質問で「3（どちらかといえば反対）」、「4（反対）」を選択した方におたずねします。

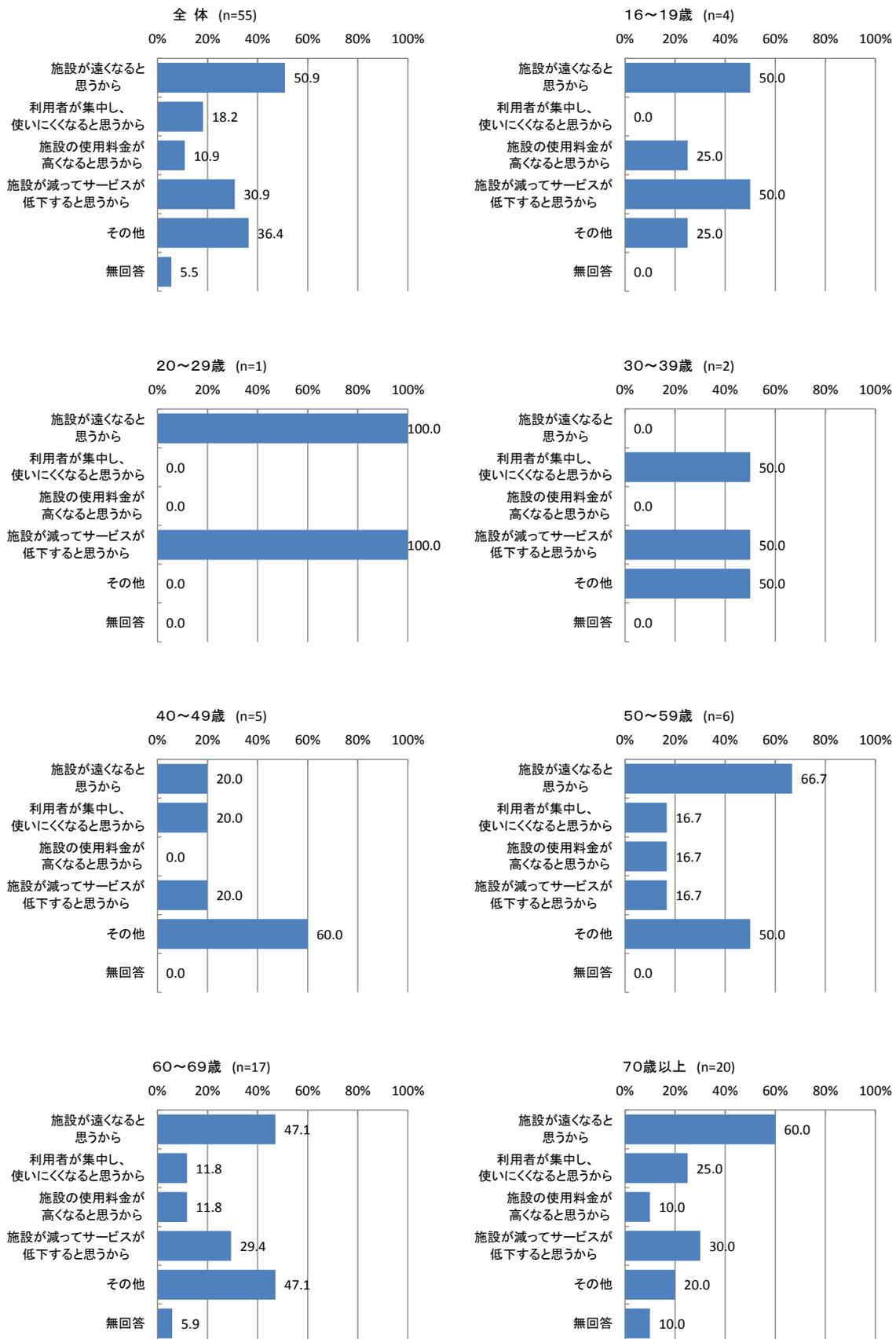
施設の見直しに反対の理由は何ですか。あなたの考えに最も近いもの2つに○をつけてください。

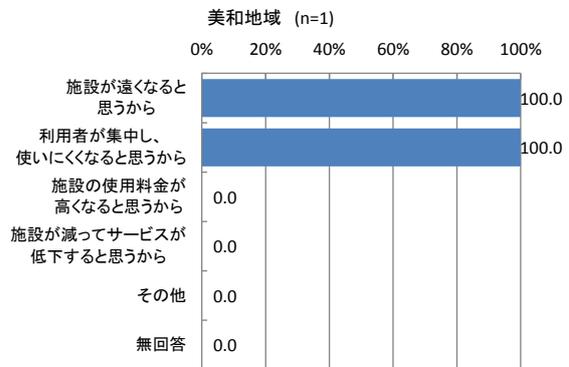
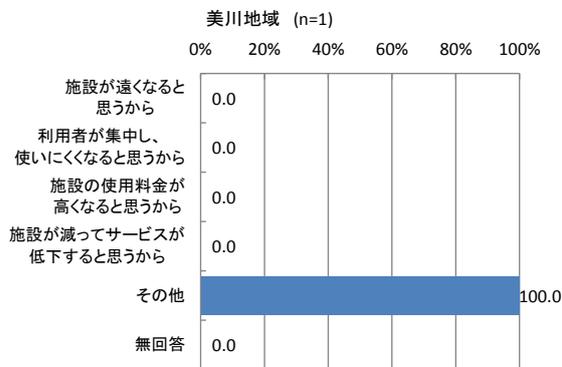
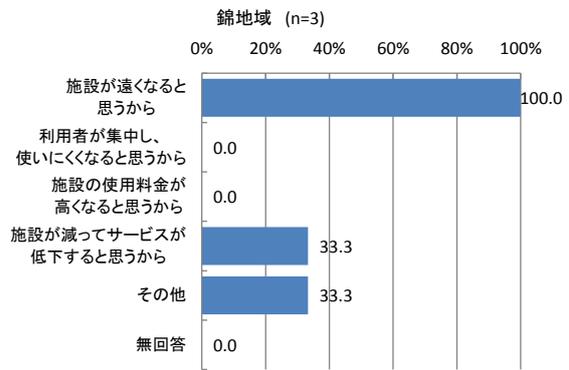
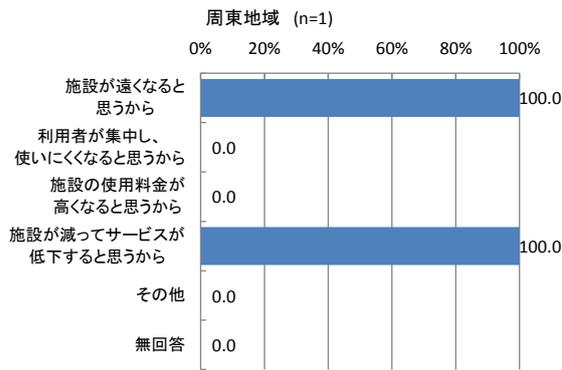
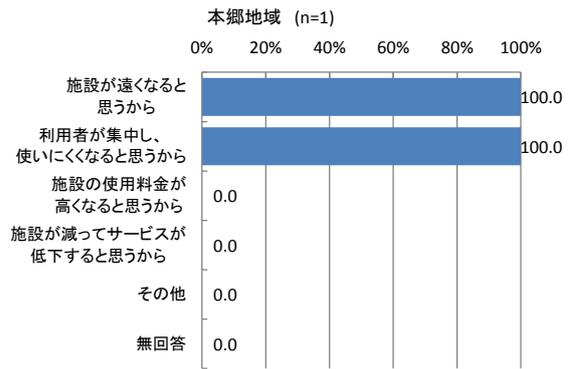
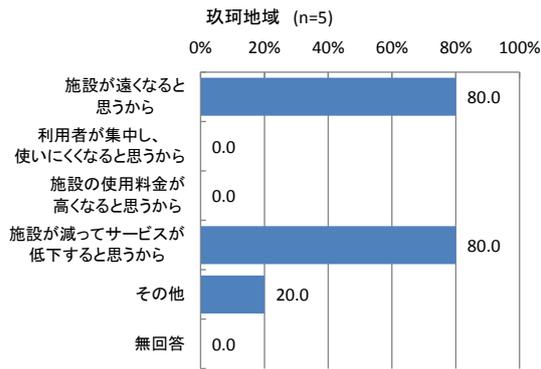
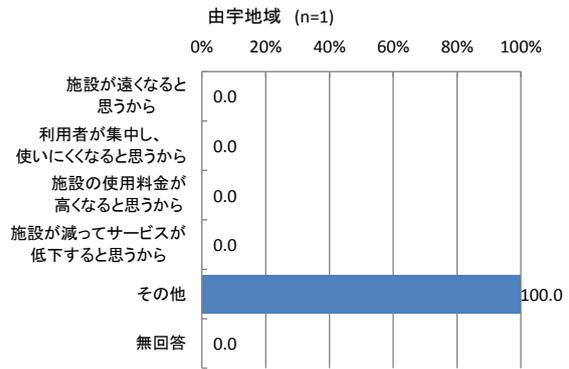
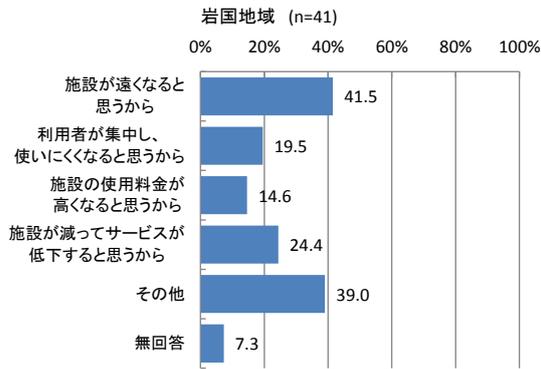
施設の見直しの反対理由は、「施設が遠くなると思うから」（50.9%）の割合が高く、約5割の方が施設の移転先に不安を感じている。次いで「施設が減ってサービスが低下すると思うから」（30.9%）となっている。



<施設の見直しの反対理由>

年齢別、地域別では、全体と同様の傾向を示している。





2) 公共施設の場所について

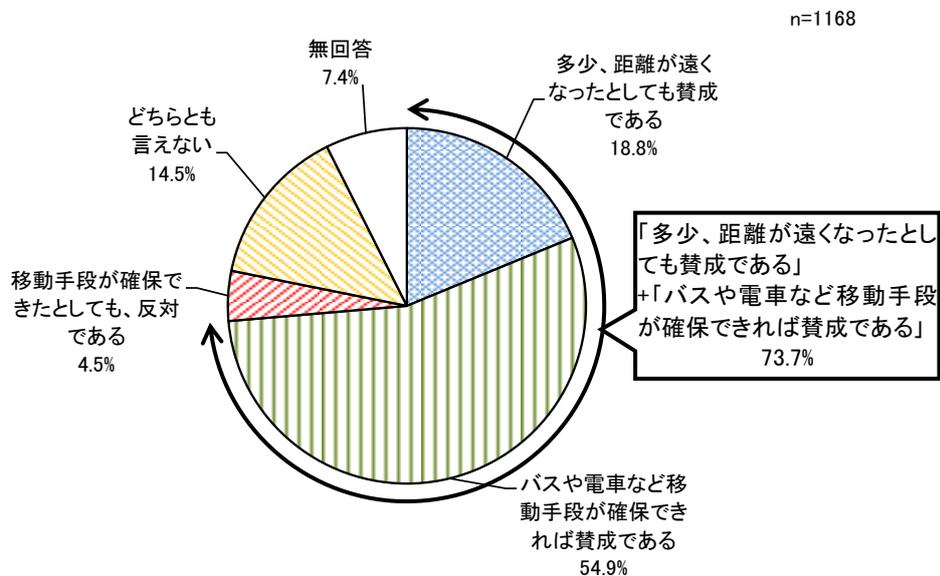
問8. 老朽化しつつある公共施設を今後も現状のまま持ち続けるためには、これまで以上に維持管理のコストがかかります。これからは、1つの施設で様々な利用方法ができるよう分散している公共施設の複合化^{※2}など効率化と利便性の向上を図ることで、市民の皆様が利用しやすい環境を作ることが重要であると考えています。

一方、施設の複合化などにより、行政サービスを受ける場所が現在利用している場所から遠くなることも考えられ、移動手段の確保も進める必要があります。

あなたのお考えに最も近いものについて、1～4のいずれか1つに○をつけてください。

※2：複合化：いくつかの行政サービスを1つの施設に集約したり、1つの場所で子育て支援から地域の会合まで多様な使い方をすることで、利用者の利便性を高めるだけでなく、維持修繕などの管理面において経費を抑える効果があります。

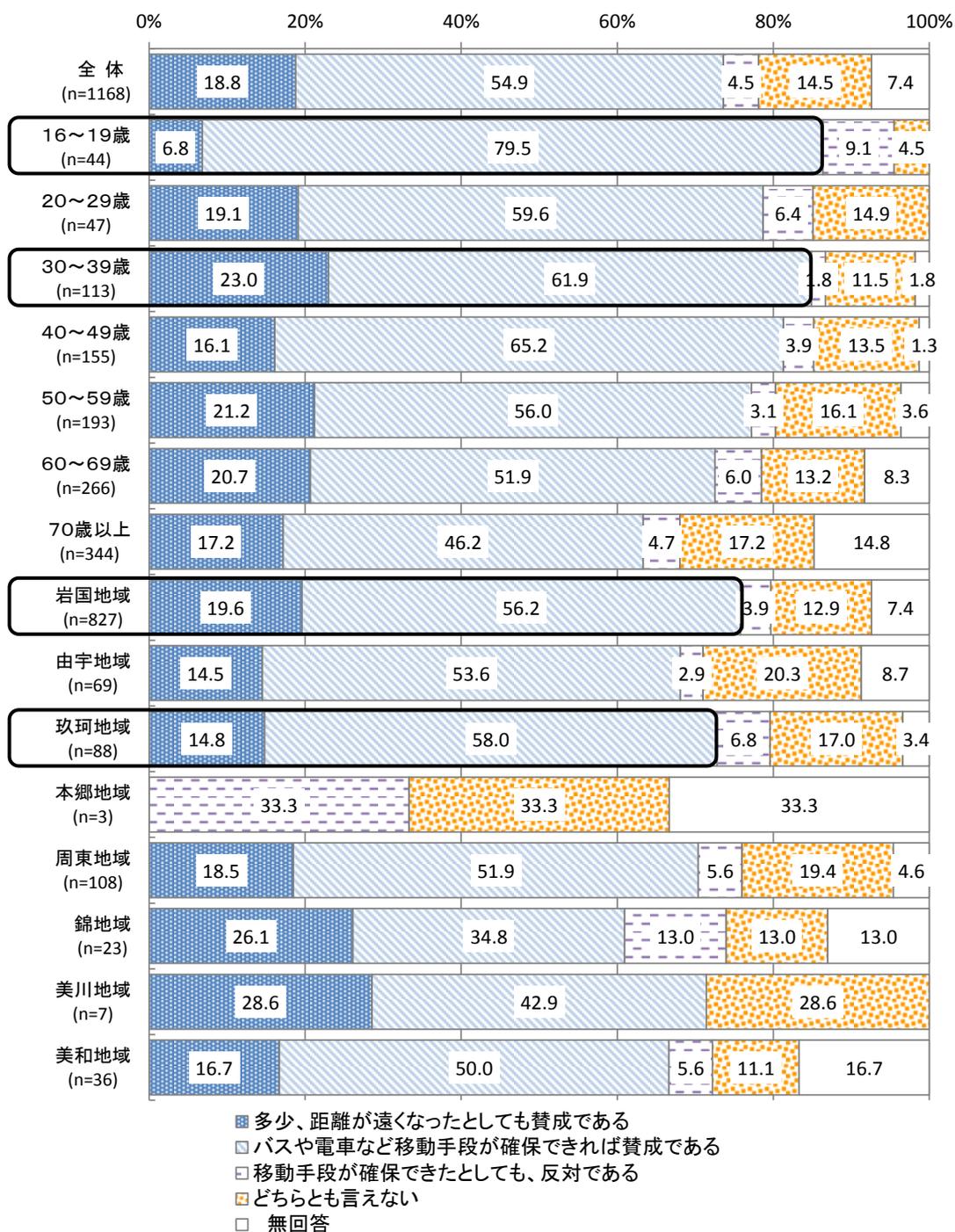
公共施設の場所については、「多少、距離が遠くなったとしても賛成である（18.8%）」と「バスや電車など移動手段が確保できれば賛成である（54.9%）」を足すと、73.7%と約7割の方が賛成している。



<公共施設の場所について>

年齢別にみると、「多少、距離が遠くなったとしても賛成である」と「バスや電車など移動手段が確保できれば賛成である」を足すと、16～19歳が86.3%と最も多く、次いで30～39歳が84.9%となっている。

地域別にみると、「多少、距離が遠くなったとしても賛成である」と「バスや電車など移動手段が確保できれば賛成である」を足すと、岩国地域が75.8%と最も多く、次いで玖珂地域が72.8%となっている。

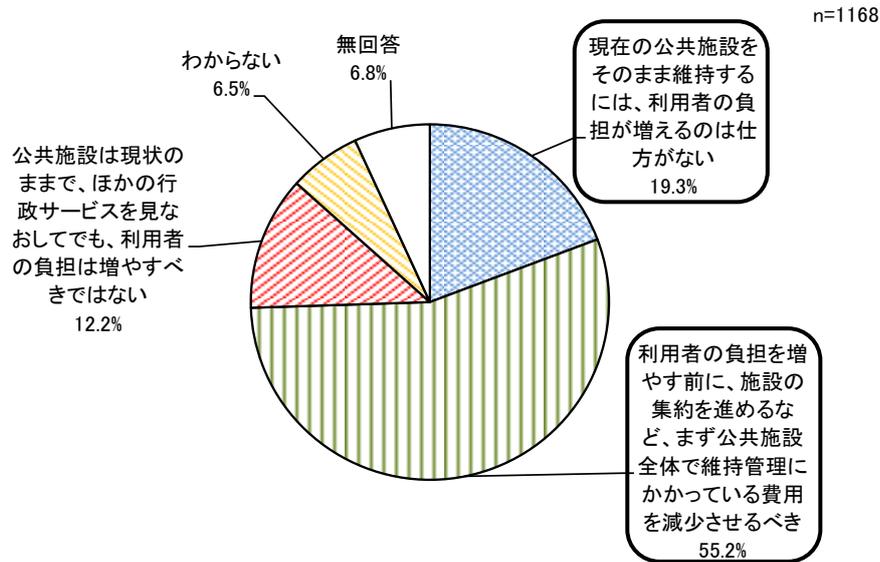


3) 施設の有料化について

問 9. 今後、人口減少による税収減が見込まれるなど、財政状況がより厳しくなっていくことが予想されます。一方、公共施設の老朽化によって、改修や建替えのための費用が増加していくことも予想され、今まで無料であった施設の使用料を有料にするなど、使用料金を見直すことも考えられます。

あなたのお考えに最も近いものについて、1～4のいずれか1つに○をつけてください。

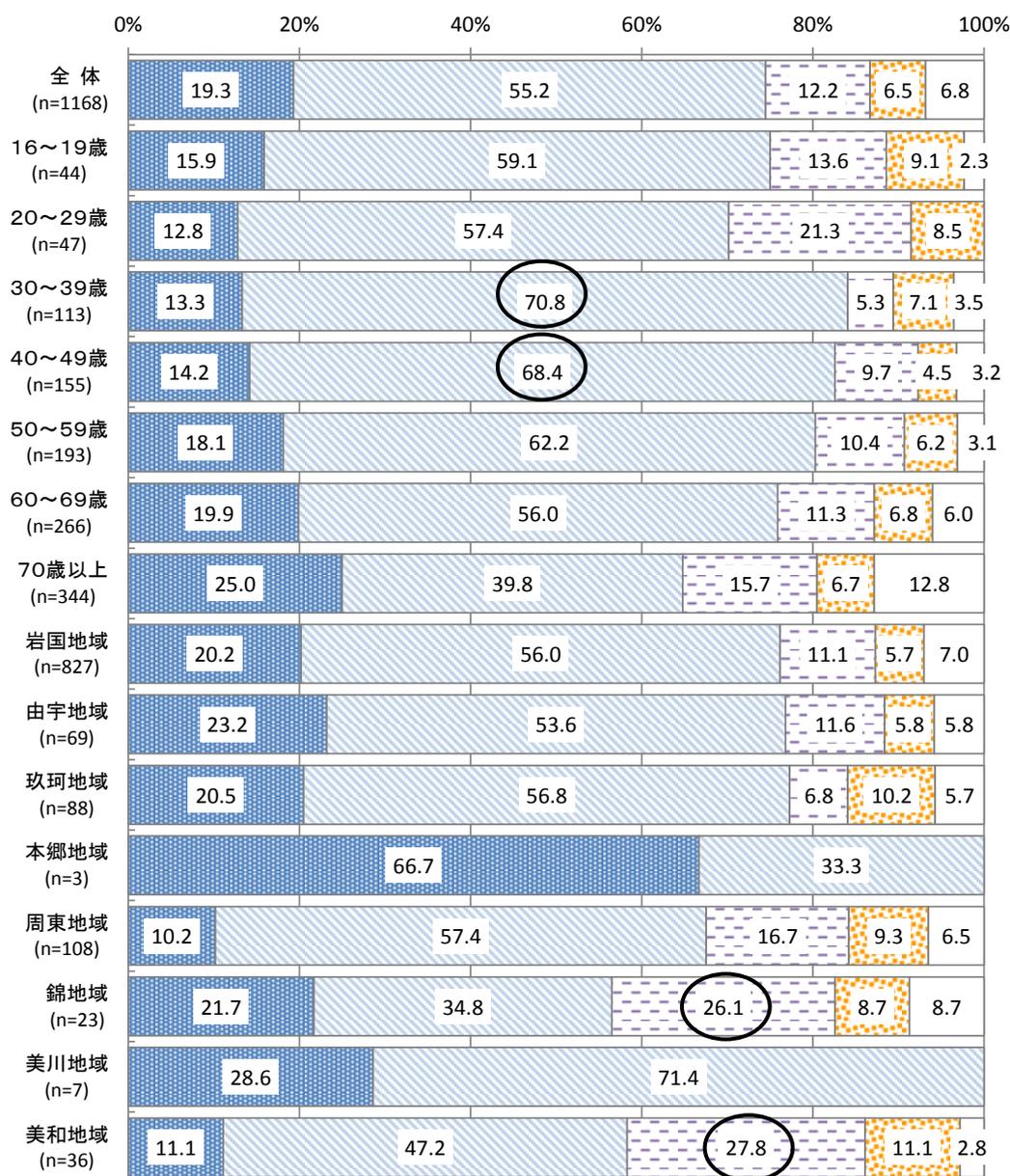
施設の有料化については、「利用者の負担を増やす前に、施設の集約を進めるなど、まず公共施設全体で維持管理にかかっている費用を減少させるべき。」(55.2%)の割合が高く、次いで「現在の公共施設をそのまま維持するには、利用者の負担が増えるのは仕方がない。」(19.3%)となっている。



<施設の有料化について>

年齢別にみると、「利用者の負担を増やす前に、施設の集約を進めるなど、まず公共施設全体で維持管理にかかっている費用を減少させるべき」が30～39歳（70.8%）、40～49歳（68.4%）で全体より多くなっている。

地域別にみると、「公共施設は現状のままで、ほかの行政サービスを見なおしても、利用者の負担は増やすべきではない」が美和地域（27.8%）、錦地域（26.1%）で全体より多くなっている。

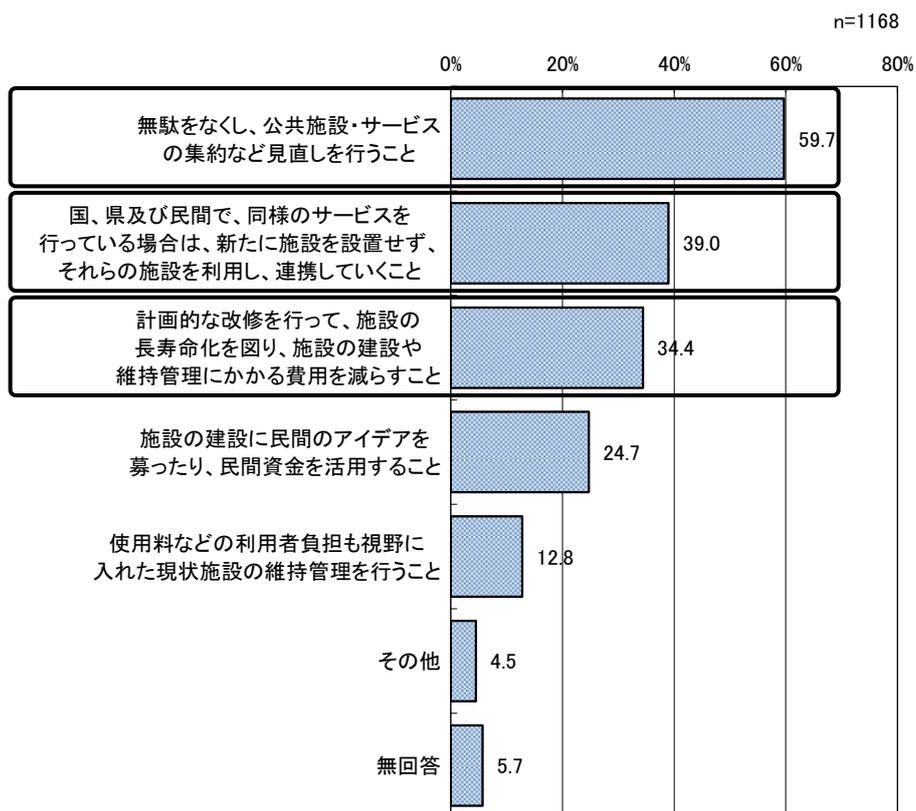


- 現在の公共施設をそのまま維持するには、利用者の負担が増えるのは仕方がない
- ▨ 利用者の負担を増やす前に、施設の集約を進めるなど、まず公共施設全体で維持管理にかかっている費用を減少させるべき
- ▨ 公共施設は現状のままで、ほかの行政サービスを見なおしても、利用者の負担は増やすべきではない
- ▨ わからない
- 無回答

4) 公共施設マネジメントに期待すること

問 10. 岩国市が公共施設マネジメントを進めていくにあたり、期待することは何ですか。
 あなたのお考えに最も近いもの2つに○をつけてください。

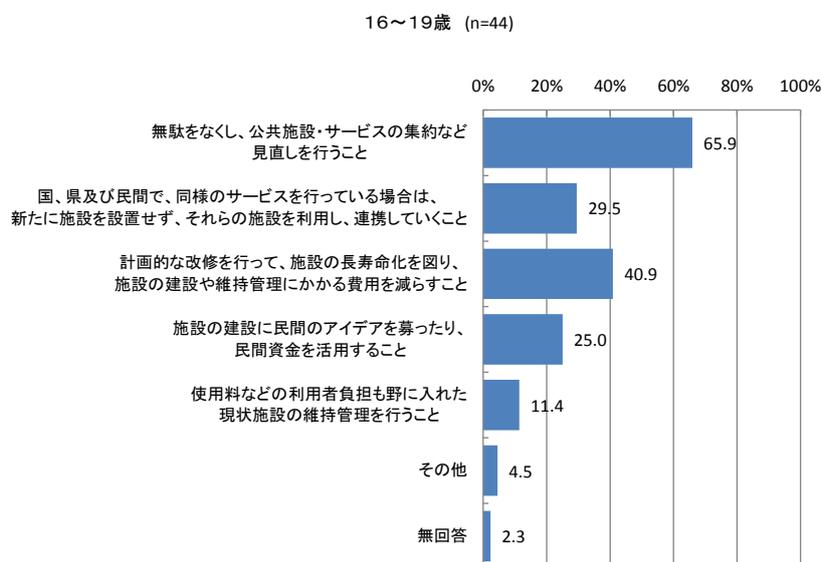
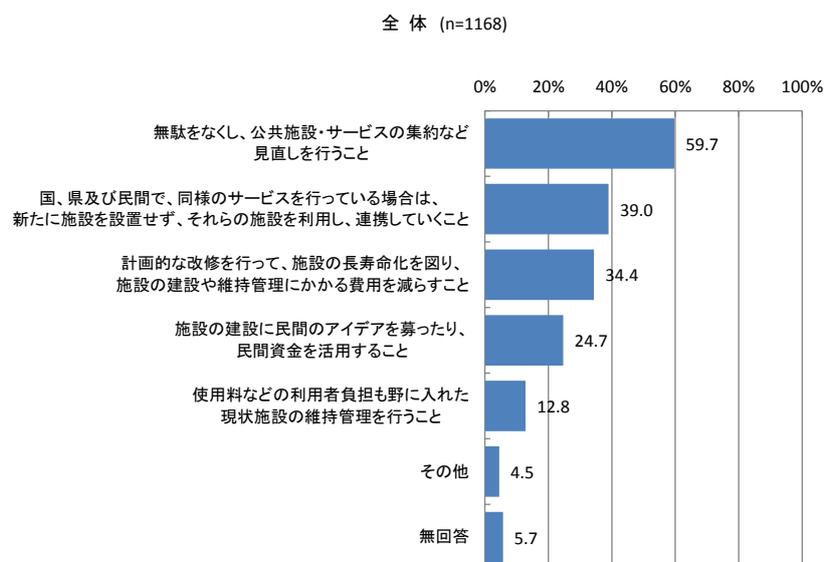
公共施設マネジメントに期待することは、「無駄をなくし、公共施設・サービスの集約など見直しを行うこと。」(59.7%)の割合が高く、次いで「国、県及び民間で、同様のサービスを行っている場合は、新たに施設を設置せず、それらの施設を利用し、連携していくこと。」(39.0%)、「計画的な改修を行って、施設の長寿命化を図り、施設の建設や維持管理にかかる費用を減らすこと。」(34.4%)となっている。



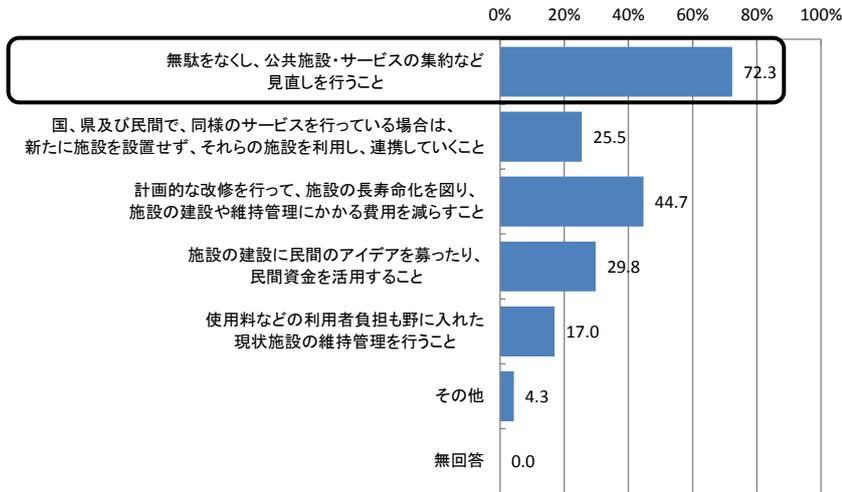
<公共施設マネジメントに期待すること>

年齢別にみると、「無駄をなくし、公共施設・サービスの集約など見直しを行うこと」が20～29歳（72.3%）、「国、県及び民間で、同様のサービスを行っている場合は、新たに施設を設置せず、それらの施設を利用し、連携していくこと」が30～39歳（50.4%）で全体より多くなっている。

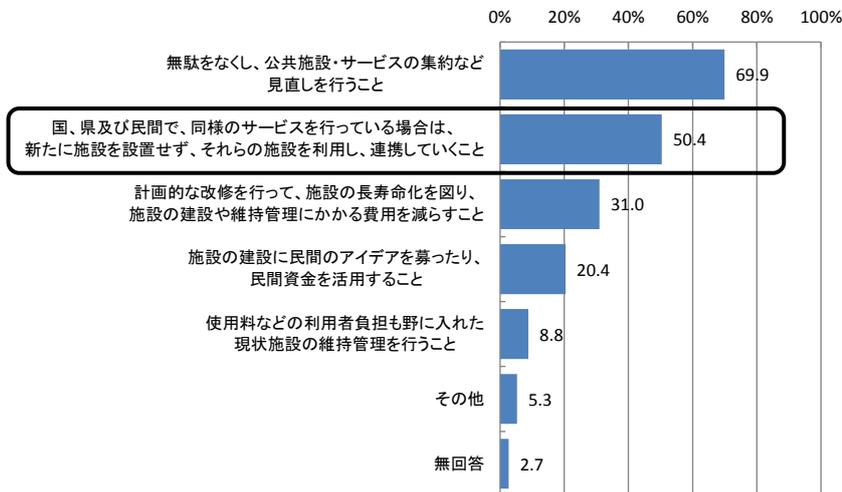
地域別にみると、「計画的な改修を行って、施設の長寿命化を図り、施設の建設や維持管理にかかる費用を減らすこと」が周東地域（48.1%）、錦地域（43.5%）で全体より多くなっている。



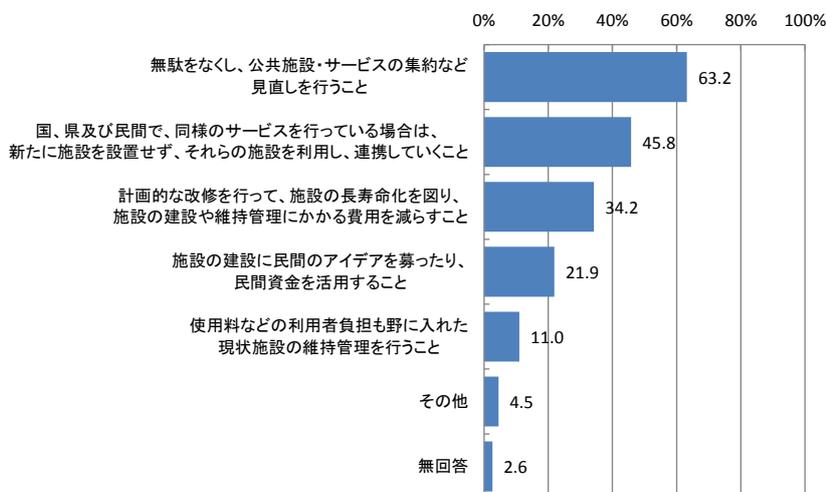
20～29歳 (n=47)



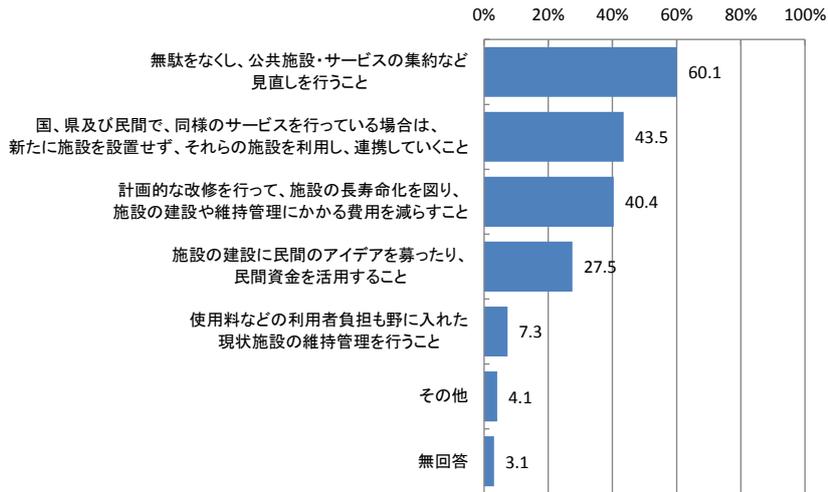
30～39歳 (n=113)



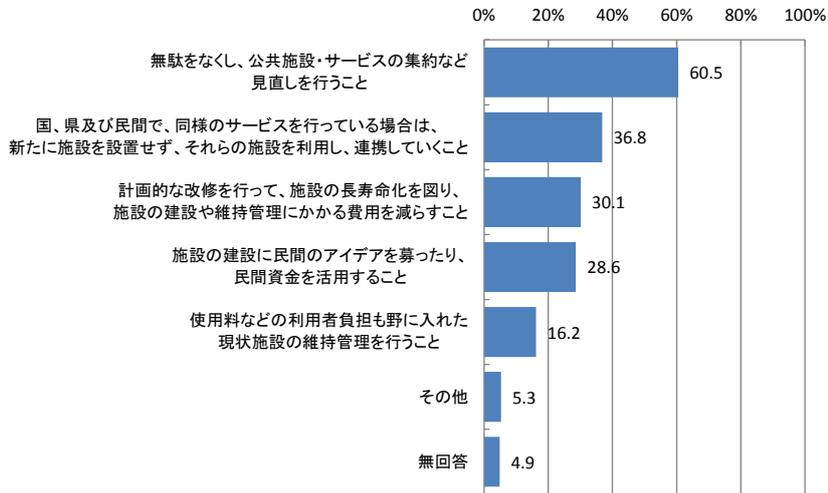
40～49歳 (n=155)



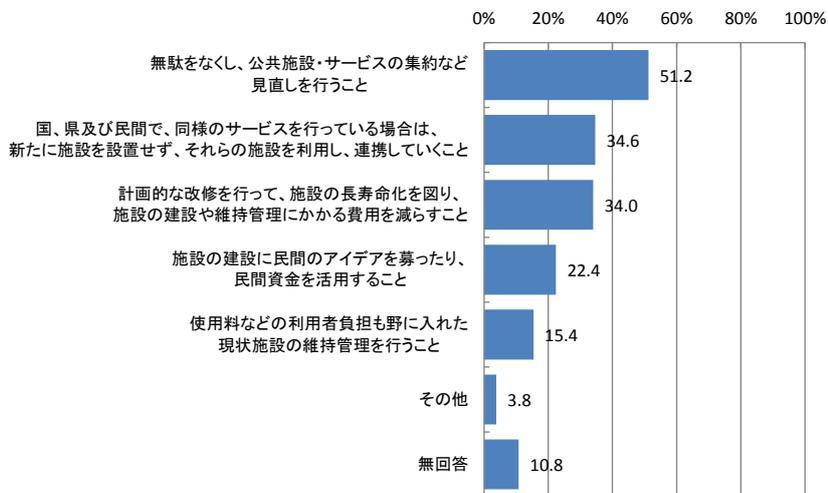
50～59歳 (n=193)



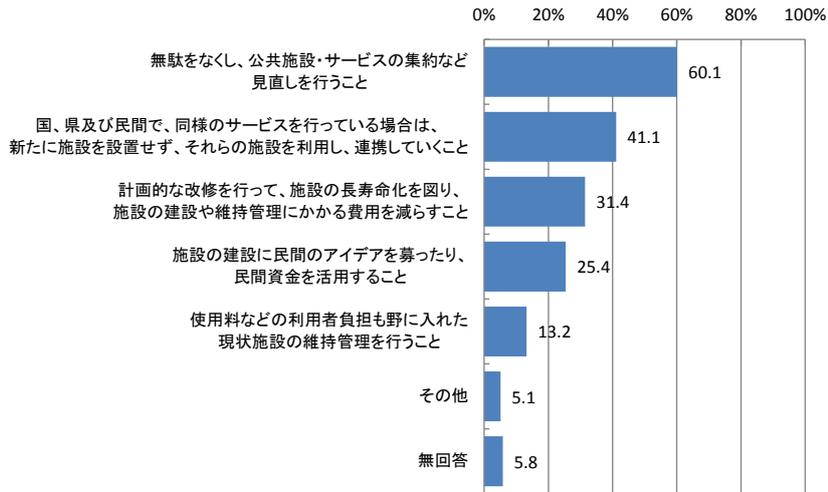
60～69歳 (n=266)



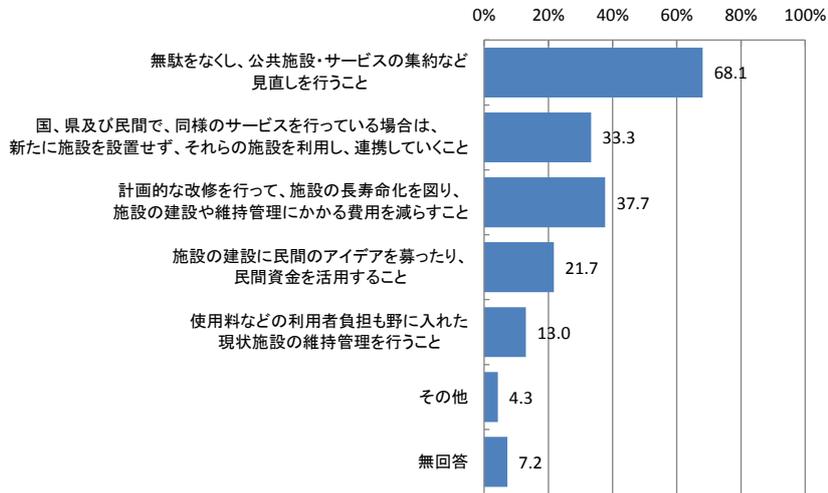
70歳以上 (n=344)



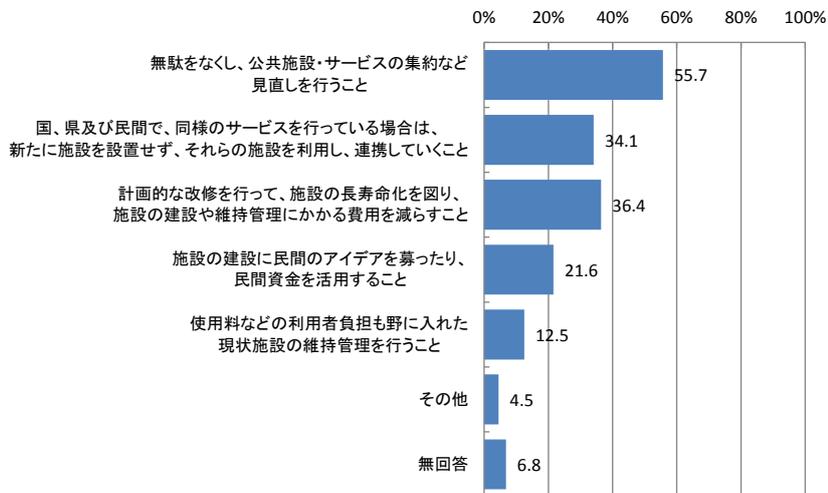
岩国地域 (n=827)



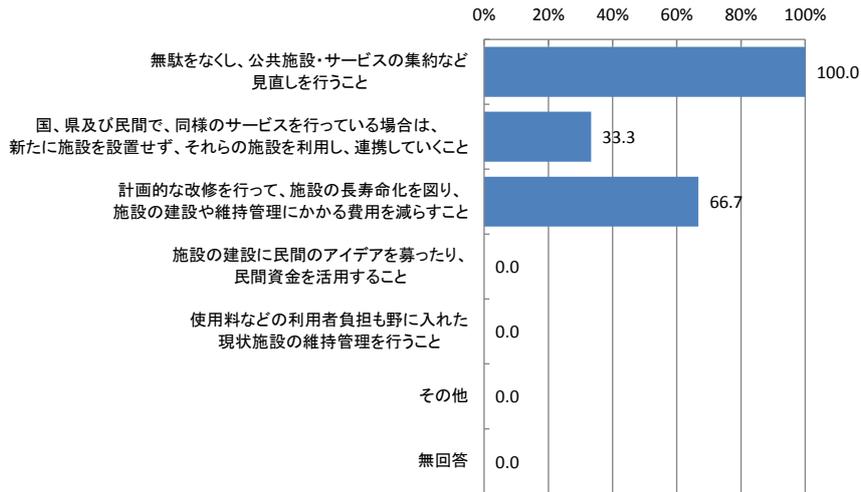
由宇地域 (n=69)



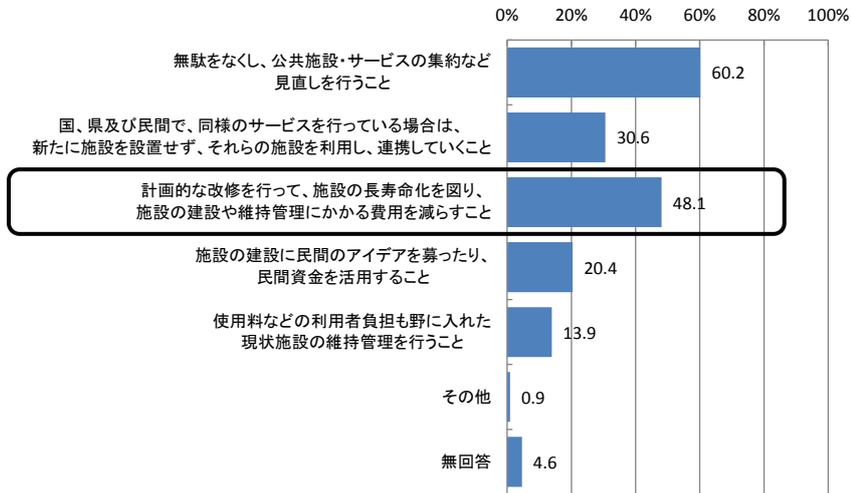
玖珂地域 (n=88)



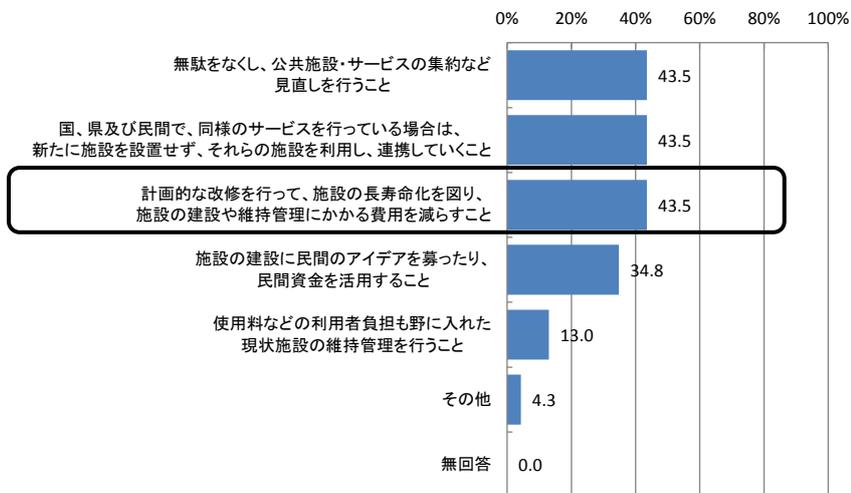
本郷地域 (n=3)



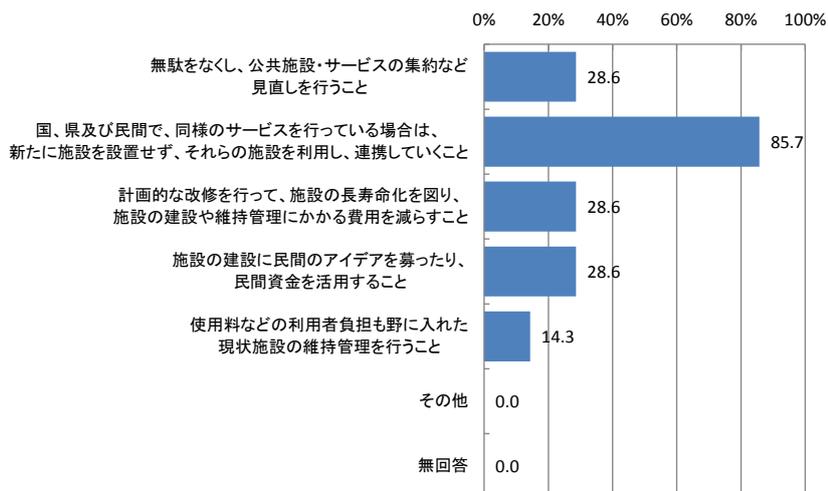
周東地域 (n=108)



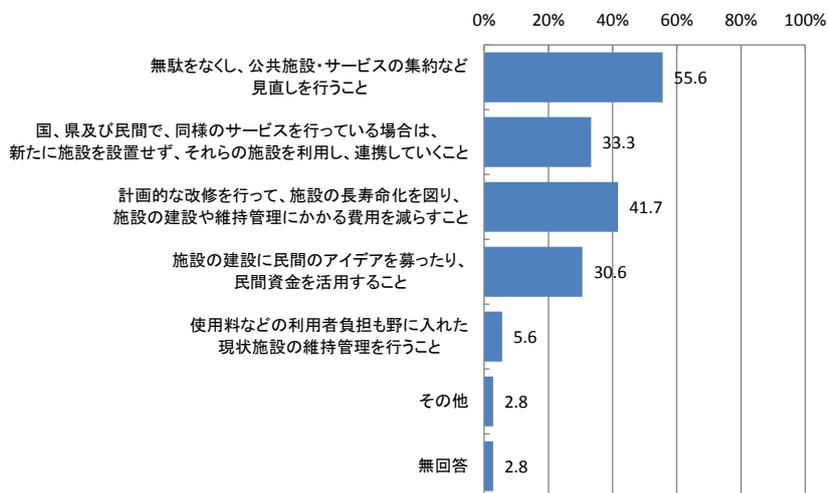
錦地域 (n=23)



美川地域 (n=7)



美和地域 (n=36)



2.5 自由意見

■自由意見：その他、ご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

自由意見欄に回答している人数は328人で、のべ意見数は483件と多数の意見が寄せられた。それらをキーワード別に分類した結果、「公共施設の複合化や削減などが必要」が50件、「公共施設を利用しやすくする」が38件、「施設に行くための交通網の充実」が33件となった。

自由意見の種類		件数	自由意見の種類		件数
1	公共施設の複合化や削減などが必要	50件	22	子育て関係の施設の充実	8件
2	公共施設を利用しやすくする	38件	23	バスの利便性の向上	8件
3	施設に行くための交通網の充実	33件	24	基地依存は問題がある	8件
4	無駄な税金の使用を無くす	29件	25	教育や子育て環境に力を入れるまちづくりを望む	8件
5	スポーツ系施設や公園の充実	22件	26	一部の人だけではなく皆が利用できる公共施設にするべき	7件
6	公共施設の利用者負担に賛成	19件	27	岩国のPRをして観光に力を入れる	6件
7	駐車場の充実	18件	28	経済・雇用対策の充実	6件
8	現在ある施設や資産を有効活用する	16件	29	社会教育系施設の充実	5件
9	基地交付金を有効に使用する	16件	30	医療施設の充実	5件
10	高齢者のための施設の充実	15件	31	若者の意見を多く取り入れるべき	5件
11	道路整備の充実	14件	32	公共施設の利用者負担を少なくする	3件
12	公共施設を利用者数等ではなく生活上の意義から検討	13件	33	防犯対策を充実して安全なまちにする	3件
13	中心部と郊外の格差をなくす	12件	34	公営住宅の充実	3件
14	アンケートについて	12件	35	住民のマナーが悪い	3件
15	施設の維持管理は計画的に行うべき	11件	36	市職員の対応に満足している	2件
16	人口増を目指し、活気のあるまちづくりを望む	11件	37	商業・娯楽施設の充実	2件
17	公共施設以外のインフラの充実	10件	38	その他(行政について)	11件
18	公務員の質の向上など	10件	39	その他(住みよいまちづくりについて)	7件
19	市役所の人員配置も見直して人件費を削減	9件	40	その他意見	7件
20	公共施設は災害時に重要となるので慎重にマネジメントする	9件			
21	生活する上で公共施設をあまり利用しない(できない)	9件			
			合計		483件